

出光アグリバイオ製品ガイド

2022



出光興産株式会社

—はじめに—

日頃は弊社アグリバイオ製品をご愛用いただき、
ありがとうございます。

このたび、「出光アグリバイオ製品ガイド2022版」を
作成致しました。

本書を通じて、弊社のアグリバイオ製品を
よりご理解いただけたら幸いです。



—出光アグリバイオ製品ガイドの見方—

- ・2021年10月現在の内容（品目・農業登録）について記載しております。
- ・微生物農薬、微生物土壌改良材、天敵農薬、IPMサポート資材、殺虫殺菌剤、緑化資材、肥料の順に記載しております。
- ・各製品には、上段に「基本データ」（登録番号、有効成分、性状、その他成分、有効年限、包装形態など）を、続いて製品の「特長」を記載しております。

主な商品ラインナップ 1

微生物農薬

微生物のチカラを利用した病害や害虫の防除剤

自然界に生息する微生物から、害虫や病気から植物を守る微生物を選出し、生きたまま使いやすく工夫を施した、人にも環境にも優しい製剤です。



※本ページの画像は株式会社エス・ディー・エス バイオテックの著作物です。無断での使用を禁止します。

微生物土壌改良材

微生物のチカラを利用した土壌改良材

作物の育成や、土壌の生物性を改善する目的のために微生物が持つ機能を利用した土壌改良資材です。



主な商品ラインナップ 2

天敵農薬

対象害虫の天敵を活用した「天敵農薬」

スワルスキーカブリダニ コナジラミ類(卵~2齢幼虫)およびアザミウマ類(主に1齢幼虫)を捕食



スワマイト

ミヤコカブリダニ ハダニ類を捕食



ミヤコトッパ

チリカブリダニ ハダニ類を捕食



チリトッパ

ミヤコカブリダニ

チリカブリダニ



ミットトッパ

ククメリスカブリダニ アザミウマ類の一齢幼虫を捕食



メリトッパ

タイリクヒメハナカメムシ アザミウマ類を捕食



リクトッパ

捕食性ダニ・昆虫製剤

捕食性ダニ・昆虫製剤

タバコカスミカメ コナジラミ類、アザミウマ類を捕食



バコトップ

飛ばないデントウムシ2齢幼虫 ワタアブラムシを捕食



デントップ

寄生性昆虫製剤

オンシツツヤコバチ オンシツコナジラミに寄生



ツヤトップ

コレマンアブラバチ アブラムシ類に寄生



コレトップ

IPMサポート資材

減農薬栽培や環境保全型農業をお手伝いする資材

※IPM：Integrated Pest Management（総合的病害虫管理）

スマイルキャッチ



虫とり君



ITシート



スマイルキャッチ設置方法・事例

作業効率をスピードアップする「スマイルカット」で簡単に使用できます。

スマイルキャッチ設置方法

紐等に引っ掛けるだけの簡単設置

① カット部を手間に持ち上げて紐等に挟む



② 完成



別の設置法



スマイルキャッチ設置事例

作物の生長点付近や出入り口などを中心に設置

番線に設置



コナジラミ等の飛翔害虫を強く誘引、捕虫



スマイルカットにより
設置作業が楽に
且つ
スピーディーに

目次

微生物農薬

ボトキラー水和剤	2
インプレッションクリア	7
タフパール	10
タフブロック	12
タフブロック SP	17
バイオリサ〈カミキリ〉スリム	19

微生物土壌改良材

Dr キンコン	24
ネギ用 Dr キンコン super	26
イチゴ用 Dr キンコン super	28
ツインガード	30
分解ヘルパー	32
分解ヘルパー 631	33
分解ヘルパーアークア	34

天敵農薬

スワマイト	36
ミヤコトップ	38
チリトップ	40
ミッチトップ	42
メリトップ	44
リクトップ	47
バコトップ	49
テントップ	51
コレトップ	53
ツヤトップ/ツヤトップ 25	55

I PMサポート資材

スマイルキャッチ	58
I Tシート	62
きつつき君SA-200	64

殺虫剤

オレート液剤	68
--------	----

殺虫殺菌剤

イデクリーン水和剤	72
-----------	----

緑化資材

イデトップフロアブル	76
イデコンボ 21S	78
イデコンボ NX	79
イデコンボ EV	80
ベースアップ	81
イデコンボ G	82
イデコンボ GS-R	83
ニトルアー〈アメシロ〉	84

肥料

IK666	88
スーパーファイン 111	90
エコマップ/スーパーファイン 525	91
ライト T111	92
ライト T622	93
ライト GM	95
フラワーライト T050	97
IKT222	99

参考資料

混用事例	102
------	-----

微生物農藥

微生物工種改良材

天敵農藥

IPMサポート資材

殺虫剤

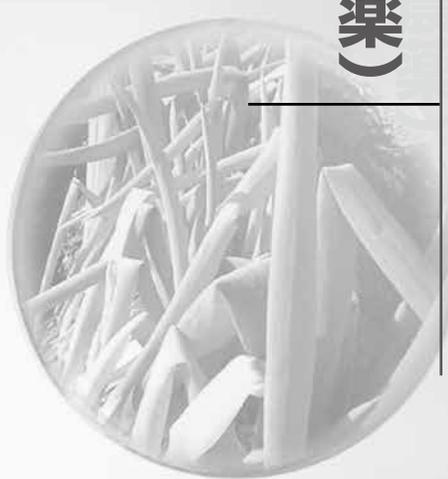
殺虫殺菌剤

緑化資材

肥

料

微生物農藥 (生物農藥)



ボトキラー[®] 水和剤

(バチルス ズブチリス水和剤)



基本データ

有効成分：バチルス ズブチリス芽胞 1×10^{11} cfu/g

性状：類白色水和性粉末

その他成分：鉱物質微粉、界面活性剤等

包装：100g×50袋/ケース、500g×10袋/ケース

特長

- 本剤は、自然界から分離した安全性の高い有用細菌（バチルス ズブチリス：枯草菌、納豆菌の仲間）を有効成分とする微生物農薬です。
- 野菜類・花き類の灰色かび病、うどんこ病のほか、ぶどう、かんきつ、マンゴーの灰色かび病、なしの黒星病、稲のいもち病に対し予防効果を発揮します。
- マルハナバチ、ミツバチ、天敵昆虫に影響が少ない剤です。
- 発病前に散布することで、本剤の有効成分が作物体上に病原菌より先に住み着き、生息場所と栄養分を先に占有することで、後から来る病原菌の感染を予防します。
- 薬剤耐性菌に対しても同様の予防効果があります。化学殺菌剤と体系を組み散布することで、薬剤耐性菌の発達を抑えることができます。
- 使用回数に制限がなく、農薬成分としてカウントされませんので、特別栽培などに適しています。
- 常温で長期間の保存（有効年限3年）が可能です。
- 暖房機のダクトの風を利用し、本剤を粉体のまま散布する「ダクト内投入」が可能な微生物農薬です。水を使わないことで湿度が上昇しにくく、散布も極めて省力的に行えます。
- 更に「ダクト内投入」は、自動投入機の「きつつき君[®]」や専用散布機を併せて使用すると、大幅な労力削減につながります。

適用病害虫の範囲及び使用方法

通常散布

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量 (10a)	使用時期	使用回数	使用方法	バチルスズブチリスを含む農薬の総使用回数
野菜類	灰色かび病 うどんこ病	1000倍	150～300ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—
ぶどう	灰色かび病		200～700ℓ	開花期～ 幼果期			
かんきつ マンゴー							
なし	黒星病			200～300ℓ			
稲	いもち病						

常温煙霧

作物名	適用病害虫名	使用量 (10a)	使用液量 (10a)	使用時期	使用回数	使用方法	バチルスズブチリスを含む農薬の総使用回数
野菜類	灰色かび病	300g	6～10ℓ	発病前～ 発病初期	—	常温煙霧	—

ダクト内投入

作物名	適用病害虫名	使用量 (10a)	使用時期	使用回数	使用方法	バチルスズブチリスを含む農薬の総使用回数
野菜類	灰色かび病	15g/日	発病前～ 発病初期	—	ダクト内投入	—
		10～15g/日				
マンゴー		10g/日				
かんきつ ぶどう		15g/日				
花き類・ 観葉植物		10～15g/日				

ダクト内投入とは

1日10～15gの本剤を水に希釈せず粉体のまま、暖房機の送風用ダクトの風を利用してハウス内全体に飛散・循環させる使用方法です。毎日継続してダクト内投入を行うことで、本剤の有効成分であるバチルス菌を圃場全体にムラなく、隅々まで定着させることができます。

「ダクト内投入」は岐阜県・出光興産（株）との共同開発技術（特許3986726）です。

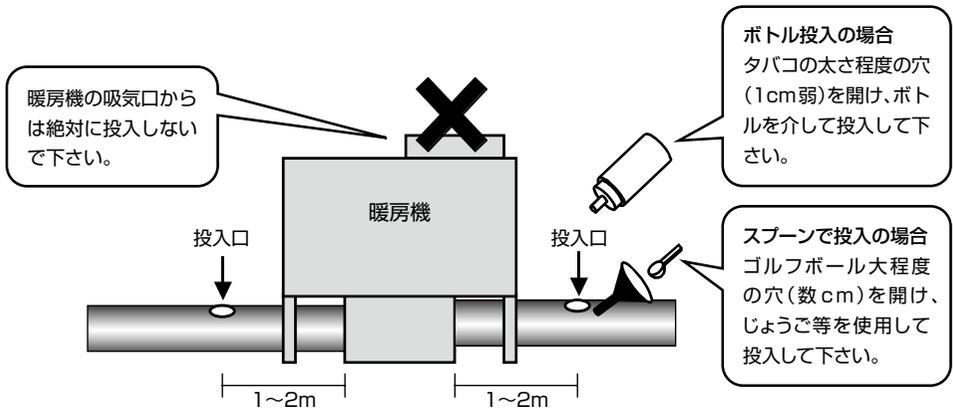
*ダクト内投入の特徴

- 防除のタイミングを逃さず、安定した発病予防効果を発揮します。
- 水を使用しない散布方法なので、ハウス内の湿度が上昇しません。
- 散布を毎日継続することにより、灰色かび病が出にくいハウス環境へと改善・維持していきます。
- 投入（散布）方法が簡便であり、動力噴霧器などを使用する散布と比べ、非常に作業が楽です。
- 水を使わないため、天敵に対しても影響が少なく、天敵生物を導入する際の病害対策として、非常に優れた方法です。

ダクト内投入の方法

*投入場所

- 親ダクトに投入口を開けて下さい（暖房機から1～2m）。
- 投入口は親ダクト全てに開けて下さい。



*投入方法

- 1日あたり10～15g/10aを投入して下さい（投入量は登録内容により異なります）。
- 投入口が複数ある場合には、投入量合計が10～15g/10aとなるように分けて投入して下さい。
- 投入にはボトルやスプーンを用いる方法があります。
- 自動投入機「きつつき君[®]」を使用すると、自動投入が可能です（「きつつき君[®]」設置についてはp.86～を参照）。

*実施手順

1. ハウス内の作業終了後、暖房機が停止していることを確認して下さい。
2. 投入するポトキラー水和剤を予め秤量して下さい。
3. ポトキラー水和剤を投入後、暖房機のスイッチを入れて下さい。毎日最低2時間以上は送風させて下さい。
4. 翌朝、入室する際は、天窓を開けるなど、ハウス内を十分換気してから入室して下さい。
5. 投入は毎日実施し、数ヶ月間（暖房期間中）継続して下さい。

重 要 ダクト内投入によるポトキラー散布を効果的に行うには

- 毎日の散布が重要です。
- 1日当たりの送風回数を多くするほど効果が高まります。
- 本剤の使用開始時点で発病が確認される場合には、化学農薬等で治療してからダクト散布を開始して下さい。
- 散布は、発病前の早い時期から、夜間に行った方が良いです。
- 発病してしまうと効果がありませんので、病原菌が感染した果実・葉・茎などは早めの除去を心がけて下さい。
- 温度が高いほど効果が高く、最高気温が15℃以上での使用をお勧めします。
- ダクトは主ダクトと枝ダクトを、できれば各畝に配置して下さい。
- 子ダクトの吐出口は上向きに直径3～5cmにあけて下さい。風が強すぎる場合は、さらに大きな穴をあけても大丈夫です。
- 吐出口の風速は8～10m/sを確保して下さい。
- 春先、気温が上がり暖房機が稼働しなくなっても、手で送風・投入を継続することで効果を持続させることができます。
- 雨よけ栽培でも散布は行えます。

使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌であるので、散布液調製後はできるだけ速やかに散布して下さい。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使い切して下さい。
- 本剤は保護作用が強く予防効果が主体なので、散布処理を行う場合には発病前～発病初期に7～10日間隔で散布して下さい。なお、生育の早い作物に使用する場合には、散布頻度を高めて下さい。
- 低温条件下（10℃以下）では効果が劣りますので、使用を避けて下さい。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合がありますので、注意して下さい。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節して下さい。
- 本剤の使用により葉及び果実などに汚れが生ずる恐れがありますので、収穫期の使用には気をつけて下さい。
- 常温煙霧用として使用する場合は、下記の注意を守って下さい。
 1. 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧して下さい。
 2. 作業は密閉できる環境で行い、作業終了後6時間以上密閉して下さい。
- ダクト内へ投入する場合は、下記の点に留意して下さい。
 1. 1ヶ月当たり300～450g/10aになるよう、暖房機などのダクト取り付け口付近からダクト内に投入して下さい。
 2. 暖房機などが数時間以上運転される条件下で使用して下さい。
- 稲のいもち病を対象とする場合、穂ばらみ期に散布した後、7～10日間隔で計2回以上散布して下さい。

- 稲のいもち病を対象に使用する場合、出穂直後4日以内に散布した後、7日間隔で計2回以上散布して下さい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等の指導を受けて下さい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 使用の際は農薬用マスク、手袋、保護メガネ、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないように、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。
- 常温煙霧中およびダクトによる散布中は、ハウス内へ入らないで下さい。また、常温煙霧中およびダクトによる散布終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室して下さい。
- ダクトによる散布の際は、送風停止中に本剤をダクト内に投入して下さい。
- ダクトにより散布後にハウス内で作業する際は、送風機を作動させないで下さい。

貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

インプレッションクリア®

(バチルス アミロリクエファシエンス水和剤)



インプレッションクリア®は株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

※本ページの画像は株式会社エス・ディー・エス バイオテックの著作物です。

無断での使用を禁止します。

基本データ

有効成分：バチルス アミロリクエファシエンス AT-332株の生芽胞 (5X10⁹cfu/g)

性状：類白色水和性粉末

その他成分：界面活性剤等

包装：100g×10袋×4 /ケース、500g×10袋 /ケース

特長

- 本剤は、植物の根圏土壌から分離した安全性の高い有用細菌（バチルス アミロリクエファシエンスAT-332株）を有効成分とする微生物農薬です。
- 野菜類・豆類（種実）・いも類のうどんこ病、灰色かび病に対し防除（予防）効果を発揮します。
- 汚れが少なく、収穫期にも安心して使えます。
- 発病前に散布することで、本剤の有効成分が作物体上に病原菌より先に住み着き、生息場所と栄養分を先に占有することで、後から来る病原菌の感染を防ぎます。
- 薬剤耐性菌に対しても同様の予防効果があります。化学殺菌剤と体系を組み散布することで、薬剤耐性菌の発達を抑えることができます。
- 薬剤抵抗性発達の可能性が低く、多くの化学薬剤と混用可能です。
- マルハナバチ、ミツバチ、天敵昆虫に影響が少ない剤です。
- 使用回数に制限がなく、農薬成分としてカウントされませんので、特別栽培などに適しています。
- 常温で長期間の保存（有効期限3年）が可能です。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量(10a)	使用時期	使用回数	使用方法	バチルス アミロリク エファシエンス を含む農薬の 総使用回数
野菜類	うどんこ病 灰色かび病	1000~ 2000倍	100~ 300ℓ	発病前から 発病初期まで	—	散布	—
にら にら(花茎)	白斑葉枯病						
なす	すすかび病						
トマト ミニトマト	葉かび病						
ピーマン ししとう 甘長とうがらし ハバネロ	黒枯病						
しそ	斑点病						
しょうが 葉しょうが	白星病						
食用ゆり	葉枯病						
きく	白さび病						
ばら	うどんこ病						
ホップ	灰色かび病	200~ 700ℓ	100~ 180ℓ	収穫3日前まで	2回以内	2回以内	
おうとう	灰星病						
もも ネクタリン	灰星病						
たばこ	うどんこ病	500~ 1000倍					

使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌であるので、散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使い切ってください。
- 本剤の所定量に少量の水を加えてかき混ぜ、その後所定量となるよう水を加え十分攪拌してから散布して下さい。
- 本剤は吸湿すると固化したり、効果が低下したりすることがあるので、貯蔵に当たっては湿気に注意し、特に使用残りの薬剤は密封して乾燥した冷暗所に貯蔵して下さい。
- 本剤は保護作用が強く予防効果が主体なので、発病前から発病初期に7~10日間隔で数回散布する。
- おうとうに使用する場合は、着色期以降の散布は果実に汚れを生じるおそれがあるので注意して下さい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認して下さい。使用方法を順守して下さい。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
 - 皮ふに付着しないように注意して下さい。皮ふについた場合には直ちに石けんでよく洗い落して下さい。
 - 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
 - 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
 - かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避け下さい。
 - 夏期高温時の使用を避けて下さい。
-

貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

農林水産省登録 第21919号

タフパール™

(タラロマイセス フラバス水和剤)



※本ページの画像は株式会社エス・ディー・エス バイオテックの著作物です。
無断での使用を禁止します。

基本データ

- 有効成分：タラロマイセス フラバス SAY-Y-94-01株孢子 5×10^8 cfu/ml
 性状：褐色懸濁油状液体
 その他成分：大豆油、界面活性剤
 危険物表示：指定可燃物（可燃性液体類）
 包装：100ml×10本/ケース

特長

- 本剤は、栃木県農業試験場がいちご圃場から分離した有用糸状菌（タラロマイセス フラバス）を有効成分とする、微生物農薬です。
- 野菜類のうどんこ病、いちごの炭疽病、なすのすすがび病、トマト・ミニトマトの葉かび病、灰色かび病に予防効果があります。
- マルハナバチ、ミツバチ、天敵昆虫に影響が少ない剤です。
- 発病前に散布することで、本剤の有用糸状菌が作物体上に病原菌より先に住み着き、生息場所と栄養分を先に占有することで、後から来る病原菌の感染を予防します。
- 薬剤耐性菌に対しても同様の予防効果があります。化学殺菌剤と体系を組み散布することで、薬剤耐性菌が蔓延した圃場の耐性菌密度を低下させることが可能です。
- 使用回数に制限がなく、農薬成分としてカウントされませんので、特別栽培などに適しています。
- 製剤は使いやすいフロアブルタイプで、果実への汚れも少なく、また室温での保管が可能です（有効年限1年6か月）。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量 (10a)	使用時期	使用回数	使用方法	タラロマイセスフラバスを含む農薬の総使用回数
野菜類	うどんこ病	2000～4000倍	150～300ℓ	発病前～発病初期	—	散布	—
なす	すすがび病			育苗期～収穫前日まで			
いちご	炭疽病			発病前～発病初期			
トマト ミニトマト	葉かび病 灰色かび病						

散布液の調整について

- 本剤は有効成分が沈殿しやすいので、使用前にボトルをよく振ってから（約1分、100回程度）溶けていることを確認し、散布液に投入した後はよく攪拌して下さい。
- 低温で保管していた場合には、室温に戻してから振って下さい。
- 本剤の予防効果を安定して発揮させるため、必ず展着剤を加用して下さい。
（例：アプローチBI、サブマージ、クミテン、マイリノー、新グラミンなど）

*振ってもボトルに沈殿が残った場合の対処方法

ボトル内に加用する展着剤を約3cc入れ、ボトルの半分程度まで水を入れて蓋を閉め、再度よく振って下さい（水のみを入れた場合、うまく分散しない恐れがあります）。

使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌であるので、散布液調製後はできるだけ速やかに散布して下さい。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使い切って下さい。
- 使用前によく振って下さい。
- 本剤は保護作用が強く予防効果が主体なので、散布処理を行う場合には発病前～発病初期に7～10日間隔で散布して下さい。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合があるので注意して下さい。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等の関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性がありますので、眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないように、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。

貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

タフブロック™

(タラロマイセス フラバス水和剤)



※本ページの画像は株式会社エス・ディー・エス バイオテックの著作物です。
無断での使用を禁止します。

基本データ

有効成分：タラロマイセス フラバス SAY-Y-94-01株孢子 1×10^8 cfu/g

性状：類白色水和性粉末

その他成分：界面活性剤、鉱物質微粉、有機質微粉

包装：100g×20袋/ケース、500g×10袋/ケース

特長

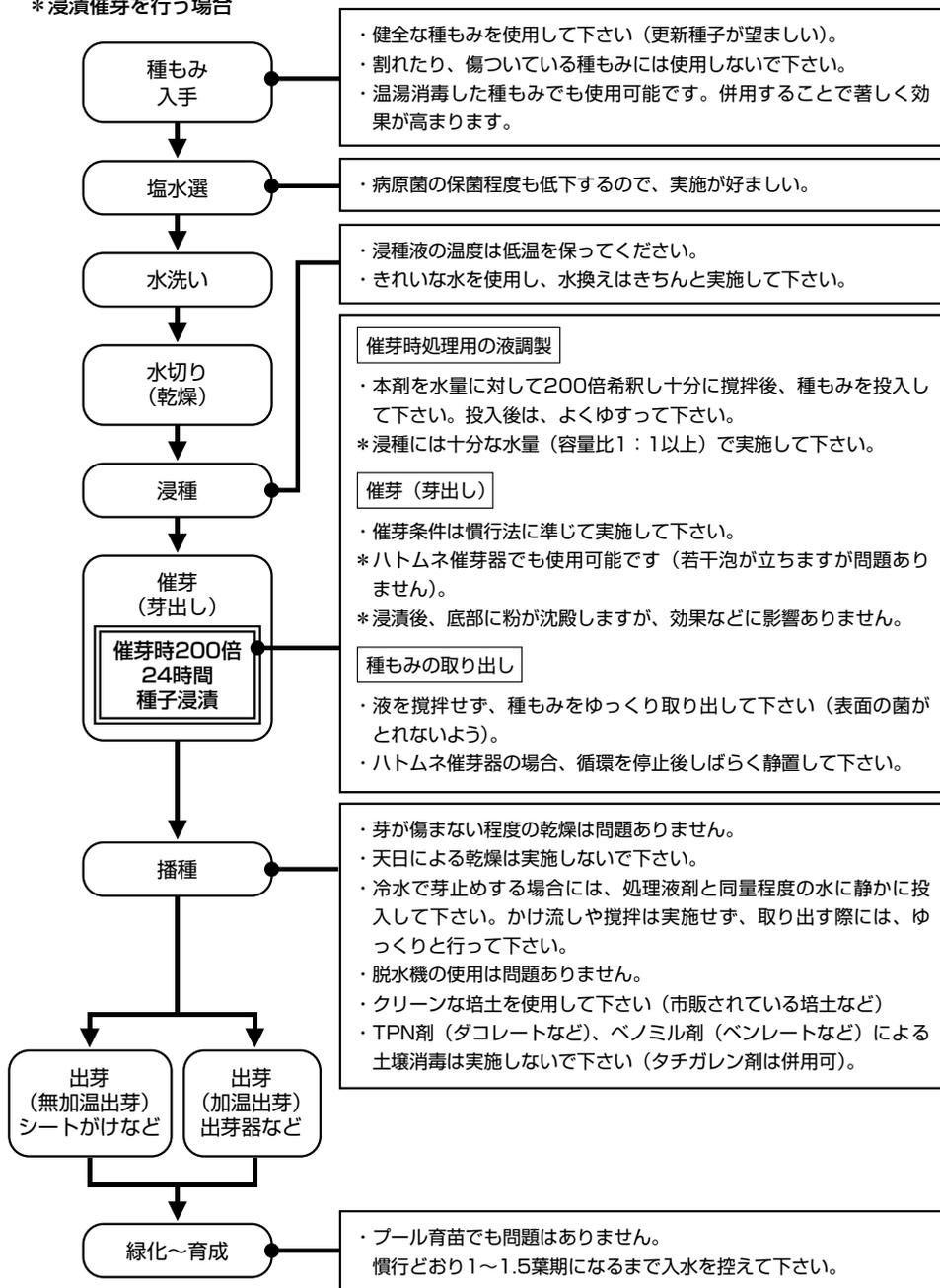
- 本剤は、栃木県農業試験場がいちご圃場から分離した有用糸状菌（タラロマイセス フラバス）を有効成分とする、微生物農薬です。
- 稲のぼか苗病、いもち病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病および苗立枯病（リゾープス菌、フザリウム菌、トリコデルマ菌）に高い予防効果を示します。
- 本剤の有用糸状菌がもみ表面に付着、増殖し、病原菌の増殖・侵入を防ぎます。生育した苗の基部のもみ殻表面には黄色いコロニーが確認できます。
- イネをはじめ、作物に対する寄生性、病原性がなく、苗の生育に悪い影響を与えません。
- 育苗時に低温などに遭遇しても効果の変動が生じにくく、苗の生育に対しても悪い影響を与えません。
- 薬剤耐性菌に対しても同様の予防効果があります。
- 温湯消毒法との組み合わせにより、安定した防除効果が期待できます。
- 製剤は水に分散しやすい水和剤で、室温での保管が可能です。
- 人畜に対する高い安全性はもとより、鳥類、昆虫、水生生物、植物、土壤微生物などに対して影響が認められておらず、環境にやさしい微生物農薬です。また、本菌は土壌中では、自然界に存在するレベルまで速やかに減衰します。
- きのご類（しいたけ、エリンギなど）に対する影響は認められていません。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	使用回数	使用方法	タロマイセスフラバスを含む農薬の総使用回数
稲	褐条病 ばか苗病 いもち病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	200倍	催芽時	—	24時間種子浸漬	—
	ばか苗病 いもち病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病		催芽前		24～48時間 種子浸漬	
		種子重量の 2～4%	浸種前		湿粉衣	
	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (リゾープス菌) 苗立枯病 (トリコデルマ菌)	200倍	催芽時		24時間 種子浸漬	
			催芽前		24～48時間 種子浸漬	
		種子重量の 4%	浸種前		湿粉衣	
	ばか苗病 いもち病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	20倍	浸種前～ 催芽前		1時間 種子浸漬	
苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (リゾープス菌) 苗立枯病 (トリコデルマ菌)	浸種前					
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (リゾープス菌)	200倍	は種時覆土前	—	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り希釈液 200mlを土壌 灌注する。	—

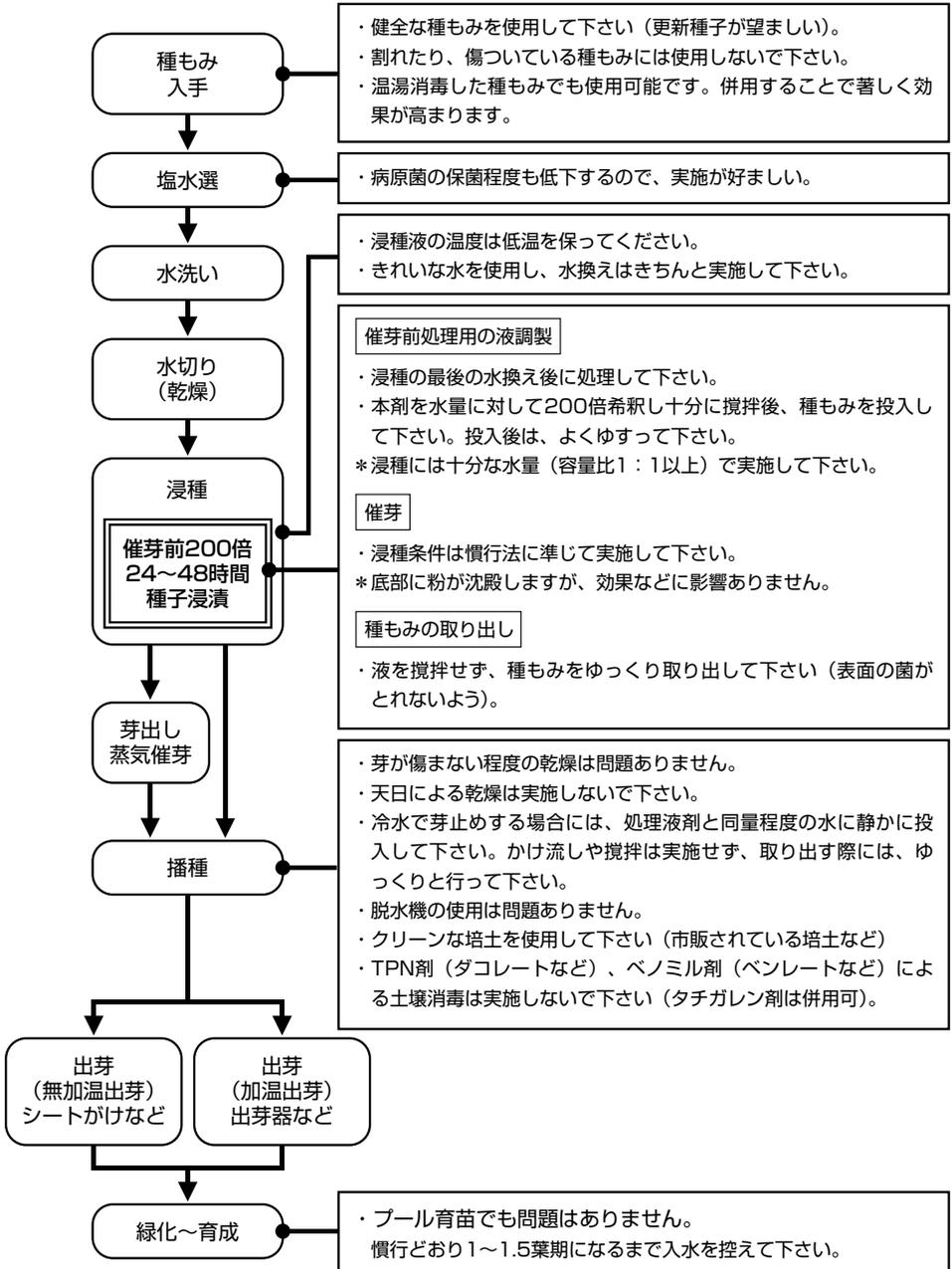
使用方法

* 浸漬催芽を行う場合



使用方法

* 蒸気催芽または播種後催芽・出芽を行う場合



*** 浸種前～催芽前1時間種子浸漬の場合**

- 本剤を水量に対して20倍希釈して下さい。
- 調整した液を十分に攪拌後、種もみを投入し、よくゆすって下さい。

*** 湿粉衣の場合**

- 湿らせた種もみに対して、2～4%粉衣（浸種前）し、よく混和して下さい。
- その後は慣行法に準じて栽培して下さい。
- 陰干しなどの乾燥は問題ありません（天日による乾燥は実施しないで下さい）。

使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌であるので、薬液調製後はできるだけ速やかに使用して下さい。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使い切して下さい。
- 種籾と処理薬液の容量比は1：1以上とし、種籾は目の粗い網袋などを用い、薬液処理時によくゆすって下さい。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合があるので注意して下さい。
- 処理後の種籾乾燥の際は、直射日光や極端な高温を避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等の関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性がありますので、眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないように、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。

貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

農林水産省登録 第 23054 号

タフブロック™SP

(タラロマイセス フラバス水和剤)



※本ページの画像は株式会社エス・ディー・エス バイオテックの著作物です。
無断での使用を禁止します。

基本データ

有効成分：タラロマイセス フラバス SAY-Y-94-01 株孢子 3×10^8 cfu/g
性状：類白色水和性粉末
その他成分：界面活性剤、鉱物質微粉、有機質微粉等
包装：1kg×10袋/ケース、10kg袋

特長

- 本剤は、栃木県農業試験場のいちご圃場から分離された有用糸状菌（タラロマイセス フラバス）を有効成分とする微生物農薬です。
- 稲のばか苗病、いもち病、苗立枯細菌病、もみ枯細菌病、苗立枯病（リゾープス菌、トリコデルマ菌、フザリウム菌）に高い予防効果を示します。
- 本剤の有用糸状菌がもみ表面に付着、増殖し、病原菌の増殖・浸入を防ぎます。
- イネをはじめ、作物に対する寄生性、病原性がなく、苗の生育に悪い影響を与えません。
- 育苗時に低温などに遭遇しても効果の変動が生じにくく、苗の生育に対しても悪い影響を与えません。
- 薬剤耐性菌に対しても同様の予防効果があります。
- 温湯消毒法との組み合わせにより、安定した防除効果が期待できます。
- 常温での保管が可能です。
- 人畜に対する高い安全性はもとより、鳥類、昆虫、水生生物、植物、土壤微生物などに対して影響が認められておらず、環境にやさしい微生物農薬です。
- きのご類（しいたけ、エリンギなど）に対する影響は認められていません。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法	タロマイセスフラバスを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 苗立枯病(リゾープス菌) 苗立枯病(トリコデルマ菌) 苗立枯病(フザリウム菌)	7.5倍	乾燥種粉 1kg当り30mℓ	浸種前	—	種子吹き付け処理 (種子消毒機使用) 又は種子塗沫処理	—
		4倍	乾燥種粉 1kg当り20mℓ				
		50倍	—			10~60分間 種子浸漬	

使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌であるので、薬液調製後はできるだけ速やかに使用して下さい。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使い切して下さい。
- 種子消毒は浸種前に行い、処理後は水洗いせずに浸種して下さい。
- 種子浸漬の場合、種粉と処理薬液の容量比は1：1以上とし、種粉は目の粗い網袋などを用い、薬液処理時によくゆすって下さい。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合がありますので注意して下さい。
- 吹き付け処理の場合は種子消毒機を使用し、種粉に均一に付着させて乾燥して下さい。また、塗沫処理の場合は適当な容器内で種粉を攪拌しながら、薬液を滴下するなどして種粉に均一に付着させて下さい。
- 処理した種子は、その旨を明示し、食品などとは区別して保管し、食用、動物用飼料として用いないで下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗いし、眼科医の手当を受けて下さい。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。

貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

バイオリサ™(カミキリ)スリム

(ポーベリア ブロンニアティ剤)



基本データ

有効成分：ポーベリア ブロンニアティ 1×10^7 cfu/cm²

性状：類白色シート

その他成分：パルプ不織布等

包装：1本のサイズ 幅2.5cm×長さ50cm 1袋50本入り×2袋入/箱

特長

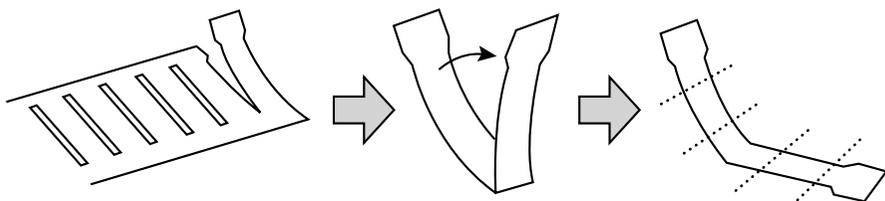
- 難防除害虫であるカミキリムシ類に有効です。殺虫効果は極めて長く、設置後約30日間持続します。
- わが国の自然界に生息する昆虫病原菌を活用した全く新しいタイプの微生物農薬です。
- カミキリムシ成虫は、本剤に触れると有効成分である糸状菌（ポーベリア ブロンニアティ）に感染し、約1～2週間で死亡します。
- シートは自然分解性/パルプ不織布を使用しているため、回収が不要です。
- 設置方法はテープ状の本剤を木に架けるだけなので、設置作業が簡単です。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	ポーベリア ブロンニアティ を含む農薬の 総使用回数
果樹類	カミキリムシ類	1樹当り 1本	成虫発生 初期	—	地際に近い 主幹の分枝部分 等に架ける	—
桑	キボシカミキリ				主幹又は主幹の 分枝部分に 巻き付ける	
かえで	ゴマダラカミキリ				樹上部の葉柄 基部又は莖等に 架ける	
さくら 食用さくら(葉)	クビアカツヤカミキリ	2樹当り 1本	産卵期 および 成虫発生初期	—	ほだ木上に 架ける	—
うど たらのき	センノカミキリ				ほだ木 10本当り 1本	
しいたけ	ハラアコブ カミキリ	ほだ木 10本当り 1本	産卵期 および 成虫発生初期	—	ほだ木上に 架ける	—

使用方法

* 準備



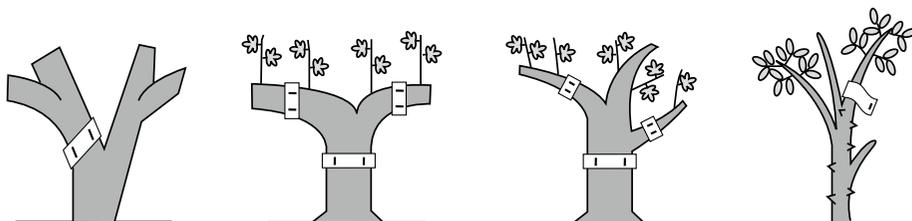
袋から本剤を取り出し端部の開いている部分から1本ずつ切り離して下さい。

本剤は折りたたまれています。端部の開いている側からはがしてください。

必要に応じて樹木の大きさに合わせたサイズに切って下さい。

* 設置

- バイオリサ™・カミキリは菌が付いている面（粉が付いている面）を表にして、幹や枝に巻き付け、ホッチキスで止めて下さい。
- カミキリムシが接触しそうな樹幹や枝の分岐部に取り付けて下さい。



かんきつの例

イチジク（一文字整枝）の例

イチジク（開心自然形）の例

たらのきの例

* しいたけの場合



- しいたけのほだ木の上にかけて下さい。
- ほだ木の上に笠木を置く場合は、その笠木の中や下にかけて下さい。
- なお、本剤は生菌を含むため、直射日光にさらされると効果が低下するので、できるだけ直射日光が当たらないような場所に架けてください。

使用上の注意事項

- 本剤はキボシカミキリ・ゴマダラカミキリ・クビアカツヤカミキリ・センノカミキリ・ハラアカコブカミキリ成虫等のカミキリムシ類が本剤と接触することにより感染し、殺虫効果を示す糸状菌を不織布上に固定した製剤です。
- 本剤は使用する直前まで乾燥した冷暗所（約5℃）に保存してください。開封後やむを得ず保管する場合は、密封し乾燥した冷暗所（約5℃）に保存してください。
- 本剤は遅効性であり、また、産卵抑制効果は持たないので、カミキリムシ成虫発生初期から使用してください。
- しいたけに使用する場合、成虫の羽化脱出（秋期）から冬眠開始（冬期）までの成虫発生初期および冬眠後の活動開始（春期）から産卵期（夏期）までの産卵期に使用してください。
- 本剤は、羽化脱出したカミキリムシ成虫が接触するように、主幹部や主枝の分岐部等の地際に近い部分（膝元から胸元）にずれ落ちないように架けてください。なお、本剤は生菌を含むため直射日光にさらされると効果が低下するので、できるだけ直射日光が当たらないような場所に架けてください。
- 本剤の使用量は、桑では幅25mm、長さ100mm、かえででは幅25mm、長さ125mm、果樹類では幅25mm、長さ500mm、さくら、食用さくら（葉）では幅25mm、長さ1,500mm（500mmを3片繋ぎ合わせる）、うど、たらのきでは幅25mm、長さ100mm、しいたけのほだ木では幅25mm、長さ500mmを1本の標準とし、カットしたり、複数本を1本に繋ぎ合わせるなど、設置する樹木の大きさに合わせて適宜調整してください。
- 本剤の有効期間は30日程度であるが、高温、乾燥、多雨などの気象条件により、殺虫効果を示す期間が短くなる場合があるので、その場合は適宜新しい製剤と交換してください。
- 蚕の1～2齢幼虫に対し影響を及ぼすおそれがあるので、本剤を処理した桑園の桑を1～2齢の幼虫には与えないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性がありますので、眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
- 使用の際には農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないように、施用した作物等との接触を避けて下さい。

貯蔵上の注意

- 本剤は生菌を含むため、乾燥した冷暗所（約5℃）に密封して保管して下さい。

微生物農藥

微生物土壤改良材

天敵農藥

IPMサポート資材

殺虫剤

殺虫殺菌剤

緑化資材

肥料

微生物土壤改良材



政令指定 VA 菌根菌*

Drキンコン™



基本データ

包装：1kg×4袋/ケース

特長

- 本資材に含まれる有用微生物のVA菌根菌が作物の根に共生し、根張りを良くして養水分の吸収可能範囲を広げます。
- 特にリン酸を効率よく作物に供給し、ミネラル欠乏症の改善が期待できます。
- 乾燥・土壌障害等に対する抵抗力を高め、健苗の育成に役立ちます。
- 本資材のVA菌根菌は作物の根と共に生きますので、作の最終まで働きます。

対象作物

- 野菜類（アカザ科、アブラナ科等を除く）

使用方法 いずれかの時期に1回お使い下さい。

定植時	苗の底部(根)に株当たり1~4g「根部処理」、または「植穴処理」
仮植時	苗の底部(根)に株当たり1~2g「根部処理」、または「植穴処理」
播種時	1~5kg/育苗土500ℓの割合で土壌混和
	育苗箱の場合、10~20g/箱で処理

使用上の注意事項

- 規定の使用量、使用量を守ってお使い下さい。
- 本資材が作物の根に直接触れるよう処理して下さい。
- ベンレート・トップジンMはVA菌根菌の生育に影響があります。これらの殺菌剤の土壌処理は避けて下さい。
- 土壌消毒をした場合は完全にガス抜きをした上でお使い下さい。
- リン酸含有量の極端に高い土壌に施用しても、効果の発現が期待できないことがあります。
- アブラナ科・アカザ科植物等には、効果が確認されていません。

貯蔵上の注意

- 冷暗所に保存して下さい。
- 本資材は微生物資材ですので、できるだけ早く使用して下さい。
- 開封後は資材を残さず使い切ってください。

* 地力増進法の定める指定土壌改良資材として政令指定されています。

政令指定 VA 菌根菌*

ねぎ用Drキンコン™ super



基本データ

包 装：10kg×2袋/ケース

特 長

- 本資材に含まれる有用微生物のVA菌根菌が作物の根に共生し、根張りを良くして養水分の吸収可能範囲を広げます。
- 特にリン酸を効率よく作物に供給し、ミネラル欠乏症の改善が期待できます。
- 本資材に含まれる有用微生物は、ユリ科作物で特に効果を発揮するものを選抜したVA菌根菌です。
- 乾燥・土壌障害等に対する抵抗力を高め、健苗の育成に役立ちます。
- 本資材のVA菌根菌はユリ科作物の根と共に生きますので、作の最終まで働きます。

対象作物

- ねぎ、にら、アスパラガス

使用方法 いずれかの時期に1回お使い下さい。

定 植 時	10～20kg/10aの割合で定植溝にスジ状処理
	チェーンポットに処理する場合は、「ひっぱりくん」セット後、苗の上から150～200g散布
播 種 時	苗床にスジ状に播種する場合、10kg/2～3aの割合で播種溝にスジ状処理
	苗床にバラマキする場合、10～20kg/2～3aの割合で土壌混和(表層5cm)
土入れ・土寄せ	ペーパーポット育苗の場合、1枚のポット当たり150～300gを用土(約4ℓ)に混合
	初回土入れ時に、10～20kg/10aの割合で株元にスジ状処理

使用上の注意事項

- 規定の使用法、使用量を守ってお使い下さい。
 - 本資材が作物の根に直接触れるよう処理して下さい。
 - ベンレート・トップジンMは菌根菌の生育に影響があります。これらの殺菌剤の土壌処理は避けて下さい。
 - 土壌消毒をした場合は完全にガス抜きをした上でお使い下さい。
 - 有機リン酸含有量の極端に高い土壌に施用しても、効果の発現が期待できないことがあります。
-

貯蔵上の注意

- 冷暗所に保存して下さい。
- 本資材は生きた微生物資材ですので、できるだけ早く使用して下さい。
- 開封後は資材を残さず使い切して下さい。

* 地力増進法の定める政令指定土壌改良資材として指定されています。

政令指定 VA 菌根菌*

イチゴ用Drキンコン™ super



基本データ

包装：5kg×4袋/ケース

特長

- 本資材に含まれる有用微生物のVA菌根菌が作物の根に共生し、根張りを良くして養水分の吸収可能範囲を広げます。
- 特にリン酸を効率よく作物に供給し、ミネラル欠乏症の改善が期待できます。
- 本資材に含まれる有用微生物は、バラ科作物で特に効果を発揮するものを選抜したVA菌根菌です。
- 乾燥・土壌障害等に対する抵抗力を高め、健苗の育成に役立ちます。
- クラウン充実・開花促進・樹勢向上が期待できます。
- 本資材のVA菌根菌はバラ科作物の根と共に生きますので、作の最終まで働きます。

対象作物

- いちご

使用方法 いずれかの時期に1回お使い下さい。

定植時	植穴処理：植穴に本資材を根に直接触れるよう約3g投入
	スジまき処理：畝に本資材をスジまきし、植穴を掘った後、スジまきした本資材が株あたり約3g根に直接触れるよう苗を植えつけ
仮植時	植穴ごとに1つかみ(約3g)を、根に直接触れるよう処理
育苗時	5kg/育苗土500ℓの割合で土壌混和

使用上の注意事項

- 規定の使用方法、使用量を守ってお使い下さい。
 - 本資材が作物の根に直接触れるよう処理して下さい。
 - ベンレート・トップジンMはVA菌根菌の生育に影響があります。これらの殺菌剤の土壌処理は避けて下さい。
 - 土壌消毒をした場合は完全にガス抜きをした上でお使い下さい。
 - リン酸含有量の極端に高い土壌に施用しても、効果の発現が期待できないことがあります。
-

貯蔵上の注意

- 冷暗所に保存して下さい。
- 本資材は微生物資材ですので、できるだけ早く使用して下さい。
- 開封後は資材を残さず使い切して下さい。

* 地力増進法の定める指定土壌改良資材として政令指定されています。

ツインガード®



基本データ

包装：5kg×2袋/ケース

特長

- 本資材に含まれる有用微生物のVA菌根菌とグリオグラディウム属菌の2つの働きで、根の健全な生育を助けます。
- VA菌根菌が作物の根に共生することで、養水分の吸収可能範囲を広げ、肥効を高めます。
- グリオグラディウム属菌が作物の根の表面で力強く繁殖することで、健全な白い根を保ち、根張りが向上します。

対象作物と使用方法

作物名	使用方法	
	播種時	鉢上げ・定植時
トマト なす きゅうり メロン すいか	5kg/培土200ℓ	5g/株
いちご	—	
ねぎ	播種後、覆土前に150g/トレイを表層処理	スジ状処理、20kg/10a
キャベツ はくさい レタス	播種後、20～50g/トレイを表層処理	—
えだまめ そらまめ	5kg/培土100ℓ	5g/株(植穴)
ヤマトイモ しょうが	—	スジ状処理、20～25kg/10a
切花 (キク・ストック等)	整地前表層処理 5kg/2a	—

使用上の注意事項

- 規定の使用方法、使用量を守ってお使い下さい。
 - 本資材が作物の根に直接触れるよう処理して下さい。
 - 土壌消毒した場合は、完全にガス抜きをした上でお使い下さい。
 - ベンレート、トップジンMは根圏微生物、共生菌の働きに影響を与える恐れがありますので、これらの殺菌剤の土壌処理との併用はできません。
 - リン酸含有量の極端に高い土壌に施用しても、効果の発現が期待できないことがあります。
-

貯蔵上の注意

- 冷暗所に保存して下さい。
- 本資材は微生物資材ですので、できるだけ早く使用して下さい。
- 開封後は資材を残さず使い切して下さい。

分解ヘルパー™

(微生物相改善資材)



基本データ

保証成分：窒素全量（3%）、りん酸全量（3%）、加里全量（1%）

主な含有物：有効菌群（バチルス菌など）、植物油かす、乾燥菌体、尿素、硫酸、過石包 装：15kg/袋

特長

- 有機物分解能力を持つバチルス菌をきたままの状態で含んだ資材です。
- 分解された残さは、肥料成分として次の作で作物に活用されます。
- 土壌中の微生物層と団粒構造の改善が期待できます。
- ペレット状ですので機械撒きが可能で、粉立ちが少ない資材です。

使用方法

使用対象	使用量	使用方法
稲わら・野菜等残さの分解促進	3～4袋（45～60kg）/10a	散布、すき込み
緑肥の腐熟促進		
堆肥の発酵促進	3～4袋（45～60kg）/ t 堆肥	散布、混ぜ込み
太陽熱消毒との併用	8～10袋（120～150kg）/10a	太陽熱消毒前に散布、すき込み
土壌消毒後の微生物相改善	8～10袋（120～150kg）/10a	土壌消毒後ガス抜き後に散布、すき込み

使用上の注意事項

- 規定の使用量、使用量を守ってお使い下さい。

貯蔵上の注意

- 多湿を避けて保管し、開封後は速やかに使用して下さい。

分解ヘルパー™ 631

(微生物相改善資材)



基本データ

保証成分：窒素全量（6%）、りん酸全量（3%）、加里全量（1%）

主な含有物：有効菌群（バチルス菌など）、植物油かす、乾燥菌体、尿素、硫酸、過石包 装：15kg/袋

特長

- 有機物分解能力を持つバチルス菌をきたままの状態で含んだ資材です。
- 分解された残さは、肥料成分として次の作で作物に活用されます。
- 土壌中の微生物層と団粒構造の改善が期待できます。
- ペレット状ですので機械撒きが可能で、粉立ちが少ない資材です。

使用方法

使用対象	使用量	使用方法
稲わら・野菜等残さの分解促進 緑肥の腐熟促進	2～3袋 (30～45kg) /10a	散布、すき込み
土壌消毒（化学剤）との併用 太陽熱消毒との併用	5～7袋 (75～105kg) /10a	消毒2～3週間前、処理同時、 またはガス抜き後に散布・すき込み 消毒前または後に散布・すき込み (同時処理可)
堆肥の発酵促進	2～3袋 (30～45kg) / t 堆肥	散布、混ぜ込み

使用上の注意事項

- 規定の使用量、使用方法を守ってお使い下さい。

貯蔵上の注意

- 多湿を避けて保管し、開封後は速やかに使用して下さい。

分解ヘルパーアクア™

(微生物資材)



基本データ

含有微生物：バチルス、ブミルス
その他成分：界面活性剤、増量剤等
包装：100g×50袋/cs

特長

- 有機物分解能力を持つバチルス菌をきたままの状態で含んだ資材です。
- 分解された残渣は肥料成分として次の作で作物に活用されます。
- 水とタイプですので農薬散布機等で散布可能です。

使用方法

使用対象	使用量	推奨使用方法
野菜等残さの分解促進	100g～400g/10a	散布後すき込み
土壌消毒（化学剤）との併用	200g～800g/10a	消毒2～3週間前、処理同時、またはガス抜き後に散布・すき込み
太陽熱消毒との併用		消毒前または後に散布・すき込み（同時処理可）

使用上の注意事項

- 希釈の際は、タンクに水を張った後、所定量の本剤を加え、十分に攪拌し、均一に分散するように散布液を調製してください。
- キャプタン系、TPN系の殺菌剤とは混用しないでください。同殺菌剤を散布する場合は、前後3日空けて使用してください。
- 日中の地温が10℃以上の条件で使用してください。
- 吸湿性がありますので、開封後は使い切るようにしてください。
- 灌水チューブを使用する場合は、内部に本剤が詰まらないことを確認の上、使用してください。

微生物農藥

微生物工種改良材

天敵農藥

IPMサポート資材

殺虫剤

殺虫殺菌剤

緑化資材

肥料

天敵農藥



農林水産省登録 第23807号

スワマイト

(スワルスキーカブリダニ剤)



基本データ

有効成分：スワルスキーカブリダニ

学名：Amblyseius swirskii

性状：淡褐色細粒

その他成分：ネットイチビコナダニ、ふすま、おがくず等

包装：500ml ポリエチレンボトル

特長

- 本剤は、コナジラミ類およびアザミウマ類の捕食性天敵であるスワルスキーカブリダニをボトルに封入した捕食性ダニ剤です。
- スワルスキーカブリダニの定着と生育に最適な環境を整え、対象害虫の発生前及び発生初期に本剤を使用すると、スワルスキーカブリダニは長期間にわたり生存できます。対象害虫がいないときは、花粉などを餌とし、上記害虫を待ち伏せします。
- 捕食性の天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に関係なく、効果があります。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量(10a)	使用時期	使用回数	使用方法	スワルスキーカブリダニを含む総使用回数
野菜類 (施設栽培、ただし、 トマト、ミニトマト を除く)	コナジラミ類 アザミウマ類	25,000～ 50,000頭	発生直前～ 発生初期	—	放飼	—

放飼方法

* 放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響するものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行ってください。
- 放飼を行う際、本剤ボトル内の入り口付近で天敵が偏在していることがあります。放飼前に10～20分ほどボトルを横に寝かせ、放飼直前に横にして10～20回、縦にして10～20回ゆっくりと回転させ、ボトル内の天敵を均一にしてください。放飼中もこの作業を時々行ってください。

* 放飼を行う際は

- ボトル内の天敵を均一にした後、作物上からこぼれないように、内容物を作物上に落していく感覚で放飼してください。
- 放飼は圃場全体に均一に、また害虫が発生しやすい場所にはあらかじめ多めに放飼を行うと効果的です。

導入のタイミング

- 対象害虫の発生前、および、発生初期（1～2か所の時）から導入を開始してください。
- 対象害虫がいないときは、花粉などを餌として生活し、対象害虫を待ち伏せします。
- 既に対象害虫が多発している場合は、スワルスキーカブリダニに影響の少ない化学農薬を処理してから、残効期間を考慮して導入してください。

使用上の注意事項

- 本剤はコナジラミ類およびアザミウマ類を捕食する天敵スワルスキーカブリダニを含有する製剤です。
- 容器内でのスワルスキーカブリダニの生存日数は短いので、入手後他直ちに使用し、使い切ってください。
- 容器内でスワルスキーカブリダニが偏在している場合があるので、使用の際にはボトルを横にしてゆっくりと回転させた後、コナジラミ類が発生している葉上にボトルから少量に分けて放飼してください。"
- 対象害虫の発生密度が高くなってからの放飼は十分な効果が得られないことがあるので、対象害虫がまだ低密度で散見された時点、あるいは、発生前から放飼をして下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均気温を15～30℃に保ってください。
- スワルスキーカブリダニの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響の無いよう適切に処理してください。

使用時安全上の注意事項

- アレルギー体質の人は取扱いに十分注意して下さい。

貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないでください。

農林水産省登録 第 22894 号

ミヤコトップ

(ミヤコカブリダニ剤)



基本データ

有効成分：ミヤコカブリダニ 2000頭/250ml
学名：Neoseiulus californicus (McGregor)
性状：淡褐色細粒
その他成分：鉱物質（石綿不検出）
包装：250ml ポリエチレンボトル

特長

- 本剤は、ハダニ類の捕食性天敵であるミヤコカブリダニをボトルに封入した捕食性ダニ剤です。
- ミヤコカブリダニの定着と生育に最適な環境を整え、ハダニ類の発生前および発生初期に本剤を使用すると、ミヤコカブリダニは長期間に渡り生存できます。
- ミヤコカブリダニはハダニ類を探索し、ハダニ類の成虫や若虫、幼虫、卵を捕食します。
- ハダニ類がいないときは、花粉などを餌として生活し、ハダニ類を待ち伏せします。
- 捕食性の天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に関係なく、効果があります。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量 (10a)	使用時期	使用回数	使用方法	ミヤコカブリダニを含む総使用回数
野菜類 (施設栽培)	ハダニ類	約2,000～6,000頭	発生初期	—	放飼	—

放飼方法

* 放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響するものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい。
- 放飼を行う際、本剤ボトルの入り口などで天敵が偏在していることがあります。放飼前に10～20分ほどボトルを横に寝かせ、放飼直前にヨコにして、10～20回、タテにして10～20回ゆっくりと回転させて、ボトル内の天敵を均一にして下さい。放飼中もこの作業を時々行って下さい。

* 放飼を行う際は

- ボトル内の天敵を均一にした後、作物上からこぼれないように、内容物を作物上に落としていく感覚で放飼して下さい。一度内容物をボトルのキャップに移し、キャップから作物上に散布すると放飼が行いやすいです。
- 放飼は圃場全体に均一に、また害虫が発生しやすい場所にあらかじめ多めに行くと効果的です。

導入のタイミング

- ハダニ類の発生前、および、発生初期（1～2か所の時）から導入を開始して下さい。
- ハダニ類がいないときは、花粉などを餌として生活し、ハダニ類を待ち伏せします。
- 既にハダニ類が多発している場合は、ミヤコカブリダニに影響の少ない殺ダニ剤を処理してから導入して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はハダニ類を捕食する天敵ミヤコカブリダニを含有する製剤です。
- ミヤコカブリダニの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切して下さい。
- 容器中でミヤコカブリダニが偏在していることがあるので、使用の際には容器を横にしてゆっくりと回転させた後ハダニ類が発生している葉上に容器から少量に分けて放飼して下さい。
- ハダニ類の生育密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、ハダニ類がまだ低密度で散見された時点、あるいは、発生前から放飼をして下さい。なお、ハダニ類の発生は均一ではないので、ハダニ類の密度の高い場所へ重点的に放飼して下さい。
- 天敵としてミヤコカブリダニが有効な密度を保つため、1週間間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を15～30℃に保って下さい。
- ミヤコカブリダニの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

チリトップ

(チリカブリダニ剤)



基本データ

有効成分：チリカブリダニ 1000頭/250mℓ

学名：*Phytoseiulus persimilis* Athias-Henriot

性状：淡褐色粒状

その他成分：鉱物質（石綿不検出）

包装：500mℓポリエチレンボトル（2000頭入り）

特長

- 本剤は、ハダニ類の捕食性天敵であるチリカブリダニをボトルに封入した捕食性ダニ製剤です。
- チリカブリダニの定着と生育に最適な環境を整え、ハダニ類の発生初期に本剤を使用すると長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用 病害虫名	使用量 (10a)	使用時期	使用回数	使用方法	チリカブリダニ を含む農薬の 総使用回数
野菜類（施設栽培）	ハダニ類	6,000頭	発生初期	—	放飼	—

放飼方法

* 放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響するものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい。
- 放飼を行う際、本剤ボトルの入り口などで天敵が偏在していることがあります。放飼前に10～20分ほどボトルを横に寝かせ、放飼直前にヨコにして10～20回、タテにして10～20回ゆっくりと回転させて、ボトル内の天敵を均一にして下さい。放飼中もこの作業を時々行って下さい。

* 放飼を行う際は

- ボトル内の天敵を均一にした後、作物上からこぼれないように、内容物を作物上に落としていく感覚で放飼して下さい。一度内容物をボトルのキャップに移し、キャップから作物上に散布すると放飼が行いやすいです。
- 放飼は圃場全体に均一に、また害虫が発生しやすい場所にはあらかじめ多めに行うと効果的です。

導入のタイミング

- ハダニ類の発生が、1～2か所の時から導入を開始して下さい。
- 既にハダニ類が多発生している場合は、チリカブリダニに影響の少ない殺ダニ剤を処理してから導入して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はハダニ類を捕食する天敵チリカブリダニを含有する製剤です。
- チリカブリダニの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切して下さい。
- 容器中でチリカブリダニが偏在していることがあるので、使用の際には容器を横にしてゆっくりと回転させた後ハダニ類が発生している葉上に容器から少量に分けて放飼して下さい。
- ハダニ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、ハダニ類がまだ低密度で散見された時点で最初の放飼をして下さい。なお、ハダニ類の発生は均一ではないので、ハダニ類密度の高い場所へ重点的に放飼して下さい。
- 天敵としてチリカブリダニが有効な密度（チリカブリダニ1頭当たりハダニ類が30頭以下）を保つため、ハダニ類発生初期より約1週間間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を17～30℃に保って下さい。
- チリカブリダニの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

ミッチトップ

(チリカブリダニ・ミヤコカブリダニ剤)



基本データ

有効成分：チリカブリダニ、ミヤコカブリダニ
 学名：*Phytoseiulus persimilis*, *Neoseiulus californicus*
 性状：淡褐色細粒
 その他成分：鉱物質
 包装：250mlポリエチレンボトル

特長

- ミッチトップは、ハダニ類の捕食性天敵であるミヤコカブリダニおよびチリカブリダニをボトルに封入した製剤です。
- ミヤコカブリダニをスケジュール放飼した際、ハダニの潜在的な発生量が多いと、増加を抑えることができない場合があります。ミッチトップを導入しておけば、ミヤコカブリダニだけでは捕食しきれなかったハダニをチリカブリダニが捕食してくれます。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用 病害虫名	使用量 (10a)	使用時期	使用回数	使用 方法	チリカブリダニ を含む農薬の 総使用回数	ミヤコカブリダニ を含む農薬の 総使用回数
野菜類 (施設栽培)	ハダニ類	250ml (チリカブリダニ として400頭 ミヤコカブリダニ として1,600頭)	発生初期	—	放飼	—	—

使用上の注意事項

- 本剤はハダニ類を捕食する天敵チリカブリダニとミヤコカブリダニを含有する製剤です。
 - チリカブリダニおよびミヤコカブリダニの生存日数は短いので、入手後他直ちに使用し、使い切ってください。
 - 容器内でチリカブリダニとミヤコカブリダニが偏在している場合があるので、使用の際には容器を横にしてゆっくりと回転させた後、ハダニ類が発生している葉上に容器から少量に分けて放飼してください。
 - ハダニ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、ハダニ類がまだ低密度で散見された時点で最初の放飼を行ってください。なお、ハダニ類の発生は均一ではないので、ハダニ類の密度の高い場所へ重点的に放飼することが望ましいです。
 - 天敵としてチリカブリダニとミヤコカブリダニが有効な密度を保つため、ハダニ類の発生初期より約1週間間隔で数回放飼することが望ましいです。
 - 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を17～30℃に保つことが望ましいです。
 - チリカブリダニとミヤコカブリダニの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けてください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 - 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響の無いよう適切に処理してください。
-

貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないでください。

農林水産省登録 第 20851 号

メリトップ

(ククメリスカブリダニ剤)



基本データ

有効成分：ククメリスカブリダニ 50000頭/缶
学名：Amblyseius cucumeris (Oudemans)
性状：淡褐色細片
その他成分：植物片、ケナガコナダニ等
包装：900ml クラフト加工紙缶

特長

- 本剤は、アザミウマ類の捕食性天敵であるククメリスカブリダニをボトルに封入した捕食性ダニ製剤です。
- アザミウマ類の一齢幼虫の他、ダニ類や花粉等も摂食することができます。アザミウマ類の発生がなくとも、これらの餌が施設圃場内に存在すれば、本製品天敵を放飼し定着させることができます。
- ククメリスカブリダニの定着と生育に最適な環境を整え、アザミウマ類の発生初期に本剤を使用すると長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	ククメリスカブリダニを含む農薬の総使用回数
野菜類 (施設栽培)	アザミウマ類	100頭/株	発生初期	—	放飼	—

放飼方法

* 放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい。
- 放飼を行う際、本剤ボトルの入り口などで天敵が偏在していることがあります。放飼前に10～20分ほどボトルを横に寝かせ、放飼直前にヨコにして10～20回、タテにして10～20回ゆっくりと回転させて、ボトル内の天敵を均一にして下さい。放飼中もこの作業を時々行って下さい。

* 放飼を行う際は

- 本剤容器を軽く一振りした量は、0.4～0.5g（約100頭）になりますので、これを目安に散布を行って下さい。
- ボトル内の天敵を均一にした後、作物上からこぼれないように、内容物を作物上に落としていく感覚で放飼して下さい。
- 放飼は圃場全体に均一に、また害虫が発生しやすい場所にはあらかじめ多めに放飼を行うと効果的です。
- 湿度の高い時に放飼して下さい。「カップ放飼」を行うと、圃場での定着がさらに高まります。

* カップ放飼とは

- 籾殻や米ぬか、ふすま等と、本剤内容物を入れた紙コップ等を作物の上部に設置して放飼する方法です。籾殻や米ぬか、ふすまがククメリスカブリダニの増殖場所となり、圃場へ定着しやすくなります。

導入のタイミング

- 定植直後のアザミウマ類の発生が見られないときから導入を開始して下さい。
- 既にアザミウマ類が発生している場合は、ククメリスカブリダニに影響の少ない殺虫剤を処理してから導入して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はアザミウマ類を捕食する天敵ククメリスカブリダニを封入した製剤です。
- ククメリスカブリダニの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切ってください。
- 容器中でククメリスカブリダニが偏在していることがあるので、使用の際には容器を横にしてゆっくりと回転させて均一に混在させた後に、株元もしくは葉上へ少量に分けて圃場全面に放飼して下さい。
- 一株当たりの使用量（100頭）は容器を軽く一振りした量（約0.4～0.5g）で確保できるので、それを目安に放飼して下さい。
- アザミウマ類の生息密度が高くなつてからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、アザミウマ類が未発生もしくは低密度で散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- 定植時またはアザミウマ類の発生初期より約1週間間隔で、ククメリスカブリダニの定着が確認されるまで数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を15～30℃に保って下さい。
- ククメリスカブリダニの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- ククメリスカブリダニの餌として封入されているケナガコナダニは、農作物を加害することがあるので、十分注意して使用して下さい。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
 - 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。
-

使用時安全上の注意事項

- アレルギー体質の人は取り扱いに十分注意して下さい。
-

貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

リクトップ

(タイリクヒメハナカメムシ剤)



基本データ

有効成分：タイリクヒメハナカメムシ成虫 100頭/ボトル、500頭/ボトル
学名： *Orius strigicollis* (Poppius)
性状：淡褐色粒状
その他成分：鉱物質（石綿不検出）
包装：100ml（100頭入り）、500ml（500頭入り） クラフト紙管

特長

- 本剤は、アザミウマ類の捕食性天敵であるタイリクヒメハナカメムシをボトルに封入した捕食性昆虫製剤です。
- アザミウマ類以外にもダニ類、アブラムシ類等を捕食し、植物花粉も摂食します。アザミウマ類の発生がなくても、これらの餌が施設圃場内に存在すれば、本製品天敵を放飼し定着させることができます。
- タイリクヒメハナカメムシの定着と生育に最適な環境を整え、アザミウマ類の発生初期に本剤を使用すると長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量 (10a)	使用時期	使用回数	使用方法	タイリクヒメハナカメムシを含む農薬の総使用回数
野菜類 (施設栽培)	アザミウマ類	1000～3000頭	発生初期	—	放飼	—

放飼方法

* 放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい。
- 本製品天敵の成虫に影響がなくても、次世代の産卵数が減少する殺虫剤がありますので、確認して下さい。
- 既にアザミウマ類が発生している場合は、タイリクヒメハナカメムシに影響の少ない殺虫剤を処理してから導入して下さい。

* 放飼を行う際は

- ボトルの蓋を開き、内容物を作物上に落としていく感覚で放飼して下さい。一度内容物をボトルの蓋に移し、蓋から作物上に散布すると放飼が行いやすいです。
- タイリクヒメハナカメムシの産卵植物である「ニジノタマ」や、餌である「ガ・ラン」を利用すると、本製品天敵の圃場への定着率が高まります。また、これら資材を利用する卵放飼法の活用もお勧めします。

導入のタイミング

- 作物上でアザミウマ類を確認、またはアザミウマ類の食害痕を確認した時放飼して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はアザミウマ類を捕食する天敵タイリクヒメハナカメムシを封入した製剤です。
- タイリクヒメハナカメムシの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切ってください。
- 放飼にあたっては、緩衝剤ごと葉上に静置して下さい。なお、容器でタイリクヒメハナカメムシが偏在していることがあるので、使用の際には容器を軽くたたいて緩衝剤と均一に混在させて下さい。
- できるだけ均一に放飼することが原則ですが、アザミウマ類の発生に偏りがある場合は、密度の高いところに重点的に放飼を行って下さい。
- アザミウマ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、低密度で散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- アザミウマ類の発生初期より1週間間隔で、タイリクヒメハナカメムシの定着が確認されるまで数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を25～30℃に保って下さい。
- タイリクヒメハナカメムシ成虫は冬期の休眠は少ないとされていますが、厳冬期での捕食活動は低下するので、放飼は春期から初冬期までに行ってください。
- タイリクヒメハナカメムシの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であり、容器内での生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

バコトツプ

(タバコカスミカメ剤)



基本データ

有効成分：タバコカスミカメ 幼虫及び成虫

学名：Nesidiocoris tenuis

性状：淡褐色粒状、淡緑色植物、淡緑色幼虫及び成虫

その他成分：鉱物質、植物片、冷凍殺虫済スジコナマダラメイガ卵

包装：100mℓポリエチレンテレフタレートカップ

特長

- 本剤は、タバコカスミカメの幼虫と成虫をカップに封入した製剤です。
- 害虫の初期発生時に施設内に放飼すると、コナジラミ類、アザミウマ類の成虫や幼虫を探索し、大量に捕食します。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	タバコカスミカメを含む農薬の総使用回数
きゅうり (施設栽培)	アザミウマ類	2株あたり 1頭	発生初期	—	放飼	—
トマト (施設栽培)	コナジラミ類					

使用上の注意事項

- 本剤の使用に際しては技術資料等を熟読し、十分な知識を有してから使用して下さい。
- 本剤はコナジラミ類及び、アザミウマ類を捕食する天敵タバコカスミカメ幼虫及び成虫を封入した製剤です。
- タバコカスミカメはコナジラミ類及びアザミウマ類を捕食する天敵生物ですが、植物を吸汁する生物でもあります。作物を害する可能性があるため、十分注意して使用して下さい。
- 害虫が低密度の時、高密度放飼を行うと植物体に傷が発生するおそれがあるため注意して下さい。
- タバコカスミカメ幼虫及び成虫の生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切して下さい。
- 容器中でタバコカスミカメ幼虫及び成虫が偏在していることがあるので、使用の際には葉上へ少量に分けてほ場全面に放飼して下さい。

- コナジラミ類及びアザミウマ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、対象害虫がまだ低密度で散見された時点で最初の放飼をして下さい。
 - 定植時または害虫類の発生初期より約1週間間隔でタバコカスミカメの定着が確認されるまで数回放飼することが望ましいです。
 - タバコカスミカメの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の使用前後の薬剤散布はさけて下さい。
 - 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 - 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないように適切に処理して下さい。
 - 本剤を使用する施設の開口部へはタバコカスミカメが野外へ逃亡しないように防虫ネットを張って下さい。
 - 本剤を使用した作付終了時は施設を閉め切り内部の植物が枯死及びタバコカスミカメが死亡したことを確認した後に残渣を排出して下さい。
-

貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

テントップ

(ナミテントウ剤)



基本データ

有効成分：ナミテントウ2および3齢幼虫（50頭入り/150mlボトル）
ナミテントウ2および3齢幼虫（100頭入り/300mlボトル）
ナミテントウ2および3齢幼虫（200頭入り/600mlボトル）

学名：*Harmonia axyridis* (Pallas)

性状：淡褐色細片および黒色幼虫

その他成分：植物片

包装：150ml クラフト紙缶、300ml クラフト紙缶
600ml クラフト紙缶

特長

- 本剤は、アブラムシ類の捕食性天敵であるナミテントウ2および3齢幼虫を封入した捕食性昆虫製剤です。
- アブラムシ類の発生初期に使用することで、長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- 本剤のナミテントウ幼虫は、成虫になっても飛翔不能で遠くに移動することができないため、多くの野菜類で高い防除効果が期待できます。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	ナミテントウ を含む農薬の 総使用回数
野菜類 (施設栽培)	アブラムシ類	10~13頭/m ²	発生初期	—	放飼	—

放飼方法

* 放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい。
- 放飼を行う際は、本剤容器内に天敵が偏在していることがあります。容器を横にしてゆっくり回転させて、容器内の天敵を均一にして下さい。

* 放飼を行う際は

- 容器内の天敵を均一にした後、アブラムシ発生場所付近の作物に、内容物を作物上に落としにくい感覚で放飼して下さい。

導入のタイミング

- アブラムシ類の発生場所を確認した後に導入して下さい。
- コレトップ導入後ヒゲナガアブラムシ等が発生した場合、導入して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はアブラムシ類を捕食する天敵ナミテントウ2および3齢幼虫を封入した製剤です。
- 入手後直ちに使用し、使い切ってください。
- 容器中でナミテントウ幼虫が偏在していることがあるので、使用の際は容器を横にしてゆっくり回転させて均一に混和させた後に、葉上へ少量に分けて圃場全面に放飼して下さい。
- アブラムシ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、アブラムシ類が散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- 天敵としてナミテントウが有効な密度を保つため、アブラムシ類の発生初期より約1週間間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を20～30℃に保ってください。
- ナミテントウの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であり、容器内での生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

コレトツプ

(コレマンアブラバチ剤)



基本データ

有効成分：コレマンアブラバチ羽化成虫 250頭/ボトル

学名：Aphidius colemani Viereck

性状：淡褐色細片および黒色寄生蜂

その他成分：植物片

包装：100ml クラフト紙缶

特長

- 本剤は、アブラムシ類の寄生性天敵であるコレマンアブラバチの寄生蛹（マミー）をボトルに封入した寄生性昆虫製剤です。
- アブラムシ類（ヒゲナガアブラムシ類を除く）の発生初期に使用することで、長期間に渡りその発生を抑制します。
- 寄生性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- マミーが確認しやすく、アブラムシ防除効果が分かりやすい剤です。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用 病害虫名	使用量 (10a)	使用時期	使用回数	使用方法	コレマン アブラバチ を含む農薬の 総使用回数
野菜類 (施設栽培)	アブラムシ類	4~8ボトル (1000~2000頭)	発生初期	—	放飼	—

放飼方法

* 放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい。
- 既にアブラムシ類が多発生している場合は、コレマンアブラバチに影響が少ない薬剤を処理してから導入して下さい。

* 放飼を行う際は

- 圃場施設内の中心に、株元など直射日光が当たらないような場所へ、本剤ボトルの蓋を開け静置します。多発している箇所がある場合、紙コップなどに小分けし発生株の株元に直接静置して下さい。
- バンカー法の活用により、長期に渡ってアブラムシ類を防除できます。

導入のタイミング

- アブラムシ類の発生が、1～2か所の時から導入して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はアブラムシ類に寄生する天敵コレマンアブラバチの寄生蛹（マミー）および羽化成虫をボトルに封入した製剤です。
- コレマンアブラバチの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切ってください。
- 放飼は、アブラムシ類の発生している作物の株元で開封し、直射日光が当たらない株元の地表面に7日間継続してボトルを静置しておこなってください。なお、コレマンアブラバチは日中に放飼すると施設の天井に集まる習性があるので夕方に放飼して下さい。
- アブラムシ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、アブラムシ類がまだ低密度で散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- 天敵としてコレマンアブラバチが有効な密度（1m²当たり1～2頭）を保つため、アブラムシ類の発生初期より約1週間間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を20～30℃に保ってください。
- ジャガイモヒゲナガアブラムシ等の大型アブラムシに対しては、効果が得られないので、当該アブラムシの防除を目的とした使用は避けて下さい。
- コレマンアブラバチの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

農林水産省登録 第20573号(ツヤトップ) 第22757号(ツヤトップ25)

ツヤトップ ツヤトップ25

(オンシツツヤコバチ剤)



ツヤトップ25

基本データ

- 有効成分：●ツヤトップの場合
オンシツツヤコバチ羽化雌成虫 50頭/カード
- ツヤトップ25の場合
オンシツツヤコバチ羽化雌成虫 25頭/カード
- 学名：Encarsia formosa Gahan
- 性状：黒色寄生蟻
- 包装：●ツヤトップの場合
45カード/紙箱
- ツヤトップ25の場合
100カード/紙箱

特長

- 本剤は、オンシツコナジラミの捕食寄生性天敵であるオンシツツヤコバチの寄生蟻（マミー）をカードに貼付した製剤です。
- オンシツコナジラミの発生初期に使用することで、長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食寄生性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- オンシツコナジラミ幼虫は本剤天敵に寄生されると黒いマミーになるため、防除効果が分かりやすいです。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	オンシツツヤコバチを含む農薬の総使用回数
野菜類 (施設栽培)	オンシツコナジラミ	25~30株当たり 1カード(ツヤトップ) 2カード(ツヤトップ25)	発生初期	—	放飼	—

放飼方法

* 放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい。
- 既にオンシツコナジラミが多発生している場合は、オンシツツヤコバチに影響が少ない薬剤を処理してから導入して下さい。

* 放飼を行う際は

- 外箱から本剤を取り出し、カードに貼り付けてある寄生蛹（マミー）に指で触れないよう気を付けて、ミシン目に沿ってカードを切り離します。カードは25～30株当たりツヤトップの場合1カード、ツヤトップ25の場合2カードの割合で、オンシツコナジラミの1齢幼虫が寄生している葉の付近の、直射日光が当たらない葉の日陰などに吊り下げて下さい。

導入のタイミング

- 予察用として10aあたり5～10枚のスマイルキャッチを設置し、コナジラミ類の初発生を的確に捉えた後、放飼を行います。季節によりコナジラミ類の発生量・天敵の活動に違いがありますので、それにより適宜放飼回数を調整して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はオンシツコナジラミ幼虫に寄生する天敵オンシツツヤコバチの寄生蛹（マミー）をカードに貼付した製剤です。
- オンシツツヤコバチの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切して下さい。
- カードは25～30株当たりツヤトップの場合1カード、ツヤトップ25の場合2カードの割合で、枝などに吊り下げて放飼して下さい。
- オンシツコナジラミの生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、オンシツコナジラミが散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- 天敵としてオンシツツヤコバチが有効な密度（1株当たり約2頭）を保つため、オンシツコナジラミの発生初期より約1週間間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を20～27℃に保って下さい。
- オンシツツヤコバチの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

微生物農薬

微生物工種改良材

天敵農薬

IPMサポート資材

殺虫剤

殺虫殺菌剤

緑化資材

肥料

IPMサポート資材



飛翔害虫誘引捕虫粘着板

スマイルキャッチ®



基本データ

- 荷 姿：スマイルキャッチ 1袋12枚入り×100袋/ケース
*1ケースは20袋入り内箱×5箱に小分けしてあります。
- 仕 様：サイズ スマイルキャッチ 100mm×258mm 厚さ0.3mm
材 質 ポリスチレン
色 黄色
粘着剤 湿式粘着剤
構 成 12枚の黄色基盤が貼り合わされた重層タイプの粘着版
(1枚目と12枚目の外側面は粘着剤が塗布されていません)

特 長

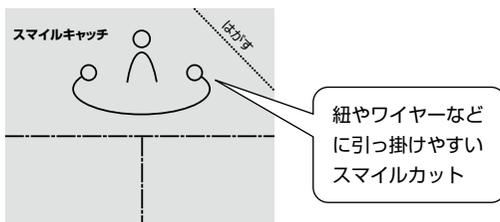
- 害虫、特にコナジラミ類を強力に誘引、捕虫します。
- 一方、天敵昆虫（寄生蜂やヒメハナカメムシ類）は誘引されにくいので、天敵防除剤と併用してお使いいただけます。
- 本資材の板は、食品包装に使用される原料を用いて仕上げました。
- 大量捕虫を目的とした場合、設置枚数を多くするにつれて害虫防除効果も高まります。
- 乾燥しない（湿式の）粘着剤を採用していますので、捕虫力は強力で長持ちします。一度の設置で長期間、害虫防除に役立ちます。
- スマイルカット（プレカット処理）の採用により、取り付け作業が簡単です。
- グリッド入りで予察にも使用できます。

色について

「黄色」といっても「うすい黄色」や「濃い黄色」など、様々な色調があります。本資材は、コナジラミ類等の飛翔害虫が強く誘引される「黄色」の色調と、寄生蜂・タイリクヒメハナカメムシなどの天敵昆虫が誘引されやすい「黄色」の色調が違うことに着目し、飛翔害虫だけが誘引される「黄色」の色調を開発、採用しています。

スマイルカットについて

- 本資材の取り付け作業を簡単にするため、特殊なプレカット処理を施しました。



誘引される主な害虫

作物	害虫
野菜類	コナジラミ類・スリップス類・アブラムシ類・ハモグリバエ類・ヨコバイ類
畑作一般	タネバエ・キノコバエ
花卉類	コナジラミ類・スリップス類・アブラムシ類・ハモグリバエ類・ヨコバイ類
かんきつ類	アブラムシ類・チャノキイロアザミウマ
ぶどう	フタテンヒメヨコバイ
かき	カキノヒメヨコバイ

10a 当たりの使用枚数の目安

大量捕虫を目的とする場合	300～1200枚(害虫の発生量に応じて使用枚数を増やして下さい)
発生予察を目的とする場合	5～10枚/週

1. 大量捕虫を目的とする場合

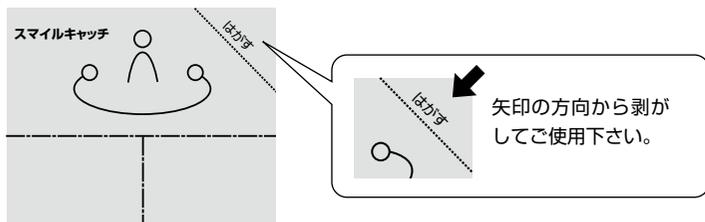
- 防除効果を上げるために、害虫の発生する前からご使用下さい。
特にコナジラミ類の捕虫には、定植前からの設置が効果的です。
- 害虫の侵入を少なくするために、ハウスの出入り口や天窓付近に多く設置して下さい。
- 定植前は地上50cmくらいの高さに設置して下さい。定植後は新芽（成長点）の高さを目安に設置して下さい。
- 害虫が多発した場所に本資材を多く設置すると、効果的に捕虫できます。

2. 発生予察を目的とする調査の場合

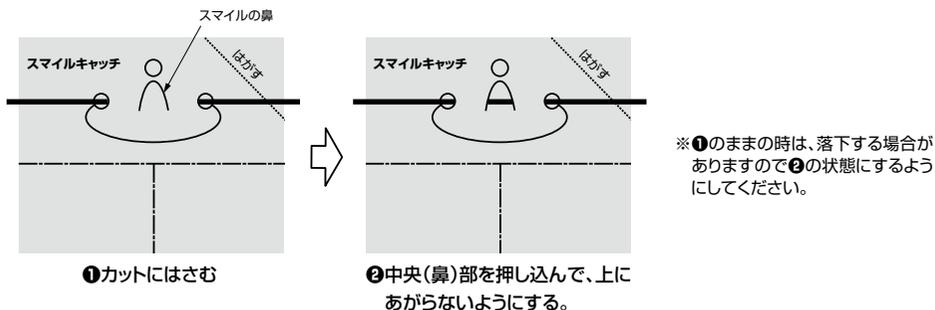
- 害虫の発生前に設置して下さい。
- 捕虫された害虫の数を数えます（5cm 画のグリッド線入り）。

設置方法

- ①設置位置に、紐やワイヤー等を横に張ります。
- ②12枚の粘着板を1枚ずつ剥がしながら設置していきます。
剥がす時は、「ハガシしろ」から剥がして下さい。

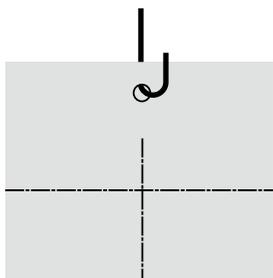


- ③ワイヤー等に引っかけて使用する場合は、下記のようにワイヤーをはさみこんでください。



* 別の設置法

フック・紐等で吊り下げて使用する場合は、中央の○穴部分をご使用下さい。



※吊り下げる場合は下側の穴を使う。

* 強風で落下する場合がありますので注意してください。

使用上の注意事項

- 強力な粘着板ですので、設置に当っては衣服や身体に付着しないように注意して下さい。
- 小児や愛玩動物が触れないように注意して下さい。
- 液肥や農薬等の散布液が付着すると粘着力が低下したり、粘着成分が液ダレして作物を汚す場合がありますので注意して下さい。
- 収穫物に粘着剤が付着しないように注意して下さい。
- 土粒、粉塵、油などが粘着面に付着した場合は、粘着力が低下する場合がありますので注意して下さい。（ダクト内投入によるボトキラー水和剤の粘着力への影響はありません）
- 製品は直射日光の当たる場所や高温多湿の場所を避け、冷暗所に保管して下さい。
- 粘着剤が柔らかいので長期保管すると粘着剤がはみ出すことがありますので、効果に影響はありませんので、そのままご使用下さい。
- 設置作業後は手を良く洗って下さい。
- 粘着板に多数の虫がつき粘着力が低下したら、ただちに交換して下さい。
- 使用後の廃棄は、適正に処分して下さい。

飛翔害虫誘引捕虫粘着シート

ITシート



基本データ

荷 姿：20巻/ケース（イエロー）
仕 様：サイズ 100mm×15m

特 長

- 害虫を誘引、物理的に捕虫します。
- ロールタイプですので、裁断して自由にお使いいただけます。
- 粘着剤で捕虫するので安全、農薬の低減にもつながります。
- 水にぬれても、乾けば粘着力はほぼ元通りになります。

誘引される主な害虫

作 物	害 虫
きゅうり トマト	オンシツコナジラミ・タバココナジラミ・マメハモグリバエ（♂主）
イチゴ	アブラムシ類
チンゲンサイ ブロッコリー かぶ	コナガ
メロン（施設栽培）	タバココナジラミ
ねぎ・たまねぎ	ネギハモグリバエ
畑作一般	ミカンキイロアザミウマ・タネバエ
菊・ガーベラ 宿根かすみ草	アブラムシ類・マメハモグリバエ（♂主）
ぶどう	フタテンヒメヨコバイ
かんきつ類	アブラムシ類・チャノキイロアザミウマ

効果的な設置方法

* ハウス周辺に張って害虫の侵入を防ぐ

- 1.5～2m間隔に、支柱を立てパッカーやホチキスで押さえて下さい。
- イエローは、50cm・150cmの高さに2段に設置することをお勧めします。
- 害虫が侵入しやすい、防虫ネットの内側などに設置して下さい。
- ハウスの周りの吹き溜まりに浮遊する害虫を捕らえます。

* 屋内にいる害虫を捕虫し、増やさない

- 害虫が発生する前から設置し、ハウス内で害虫が繁殖しにくい状態を保ちます。
- 害虫が集まりやすい生長点付近に設置し、効果的に害虫を捕虫します。
- 害虫の多発箇所によく設置すると効果的です。

* 屋ハウスに出入りする害虫を捕虫する

- ハウスの出入り口付近や扉、天窓に直接貼り付け、害虫を出入りさせないようにします。

使用上の注意事項

- 強力な粘着力をもつシートですので、設置にあたっては衣服や体に付着しないようご注意ください。
- 製品ロールは直射日光の当たる場所や高温多湿の場所を避け、暗所に保管して下さい。
- 万一、体に付着した場合はアルコールなどですみやかに拭き取って下さい。
- 薬液が付着すると誘引力が低下する場合がありますのでご注意ください。
- 本資材はミツバチや天敵の蜂類を誘引する可能性があります。
- 愛玩動物が触れないように、注意して配置して下さい。
- 水・ほこり・土・油などが粘着面に付着した場合は、粘着特性が落ちますので注意して下さい。
- 乳幼児が触れないようご注意ください。素肌に触れるとかぶれる恐れがあります。

ボトキラー水和剤専用 自動ダクト内投入機

きつつき君[®] SA-200



仕様

形式：SA-200 日本製（投入機型式：SA-200 制御盤型式：AS-01）

電源：AC200V 50Hz：110VA/60Hz：90VA（暖房機に接続）

外形寸法・重量：制御盤 242H×142W×120D、約1.1kg

投入機 500H×285W×205D、約1.6kg

制御形式：24時間タイマーによる電子制御、温風暖房機ファン連動型

設定範囲：投入量 1日1台あたり0～30g（0.1g単位）

投入機2台付属

投入開始時刻 任意に設定可能

投入間隔 3～100秒

梱包内容



①制御盤



②投入機 2台



③暖房機と制御盤
接続用ケーブル



④取扱い説明書

特長

- 農業散布の省力技術ボトキラー「ダクト内投入」専用の自動投入機です。
- これまで毎日手作業で実施していたダクト内投入を、自動化しました。
- 毎日の投入作業から開放されるとともに、投入忘れを防止できます。
- 1回の充填で数ヶ月の連続運転が可能です。
- 投入する時刻、投入量などを任意に設定できます。
- 投入量は0.1g単位で設定できるため、あらゆるハウス条件に合わせることが可能です。
- 温風暖房機ファンと連動して投入するため、ダクト内での薬剤の滞留や、飛び散りを防止します。

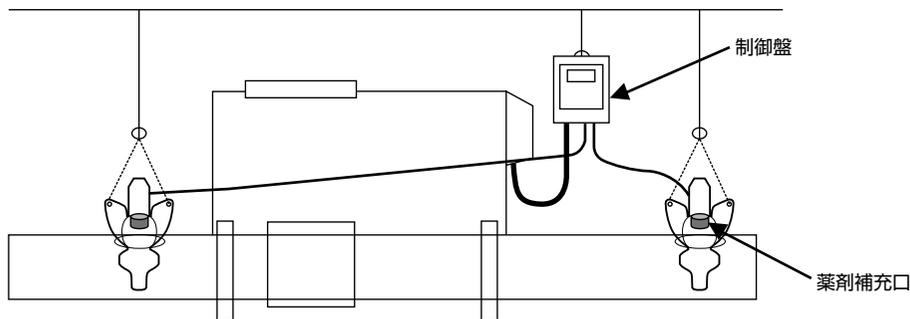
設置方法の動画

下記のHPアドレスから設置動画をご覧になれます。

<https://www.idss.co.jp/business/agri/product/microbe/ipm/kitsutsuki.html>

制御盤・投入機の設置例

- 制御盤は、暖房機付近に園芸用紐等で吊るすか、支柱や壁面に固定します。制御盤ケースはプラスチック製のため、暖房機本体に直接取付けないで下さい。
- 投入機本体の先端部からくびれ部分までを、ダクトに開けた穴に入れてゴムバンド等でダクトをくびれ部分に固定します。
- 投入機は園芸用紐などを利用して、ハウス内のワイヤー等に吊り下げます。
- 投入機のケーブル端子は、制御盤の設定 1（出力 A）、設定 2（出力 A）に接続します。
- 暖房機と制御盤付属ケーブルを接続します。
- 薬剤補充口からポトキラー水和剤を補充して、キャップを締めます。
(投入機 1 台にポトキラー水和剤をおよそ 1000g 充填できます)
- 取り付けが完了したら、暖房機ブレーカーを ON にして制御盤に通電します。
- 通電後は、制御盤の液晶に条件設定画面が表示されますので、説明書の手順にしたがって条件を入力して下さい。
- 暖房機の機種、使用状況によっては「きつつき君」が設置できない場合があります。ご購入の際は、適合可否について取扱店または弊社までお問い合わせ下さい。



使用上の注意事項

- 制御盤、投入機は水のかからない位置に設置して下さい。
- ダクト内投入の使用法登録がある薬剤を使用して下さい。
- ハウス内の湿度等により濡れた薬剤は、正常に投入できないことがあります。

安全使用上の注意

- きつつき君はAC200V電源を使用しています。設置時は、暖房機ブレーカーを必ずOFFにする、濡れた手で作業しないなど感電には十分注意して下さい。
- ご使用になる前には、必ず付属の「取扱説明書」をよく読んで、正しくお使い下さい。
- 異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、速やかに購入店または弊社までご連絡下さい。



微生物農藥

微生物工種改良材

天敵農藥

IPMサポート資材

殺虫剤

殺虫殺菌剤

緑化資材

肥料

殺虫剤



農林水産省登録 第 18249 号

オレート®液剤

(オレイン酸ナトリウム液剤)



オレート®は OAT アグリオ株式会社の登録商標です。

基本データ

- 有効成分：オレイン酸ナトリウム 20.0%
 性状：淡黄色澄明液体
 危険物表示：第4類第二石油類（水溶性）
 包装：1ℓ×12本/ケース 5ℓ×4本/ケース

特長

- 害虫に対する作用機作は、気門封鎖による窒息死です。
- うどんこ病に対する作用機作は、細胞膜破壊によるものです。
- 有効成分であるオレイン酸ナトリウムは、食品添加物に指定されている成分です。
- 収穫前日まで使用できます。
- 環境や天敵、ミツバチ等有用生物に対する影響が少ない殺虫剤です。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オレイン酸ナトリウムを含む農薬の総使用回数
なし	アブラムシ類	100～200倍	200～700 ℓ/10a	発生初期～ 収穫前日まで	—	散布	—
果樹類 (なしを除く)		100倍					
野菜類 (いちごを除く)	コナジラミ類	100～300倍	100～300 ℓ/10a				
	アブラムシ類	100倍					
いちご	コナジラミ類	100～300倍					
	アブラムシ類	100倍					
うどんこ病							
きく ばら	アブラムシ類		発生初期～ 収穫前日まで				

上手な使い方

- 害虫に薬液がムラなくかかるよう、ていねいに散布して下さい。

使用上の注意事項

- 本薬6～7枚期までの散布は、薬害の出るおそれがあるのでして下さい。
- 高温時の散布は薬害の生じるおそれがあるのでして下さい。
- 散布直後の降雨は効果を減らすので、天候を見極めてから散布して下さい。
- アルカリ性剤のため、他の薬剤との混用または近接散布には注意して下さい。
- 病害虫の発生が多い場合は効果が十分に発揮されないこともあるので、5日前後の間隔で連続散布して下さい。
- 薬害のおそれがあるので、周辺の作物にかからないように注意して下さい。
- 使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。使用後は洗眼して下さい。

貯蔵上の注意

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な子供の手の届かない場所に密栓して保管して下さい。
- 低温期には凝固することがありますが、融解後の成分に影響はありません。



微生物農藥

微生物工種改良材

天敵農藥

IPMサポート資材

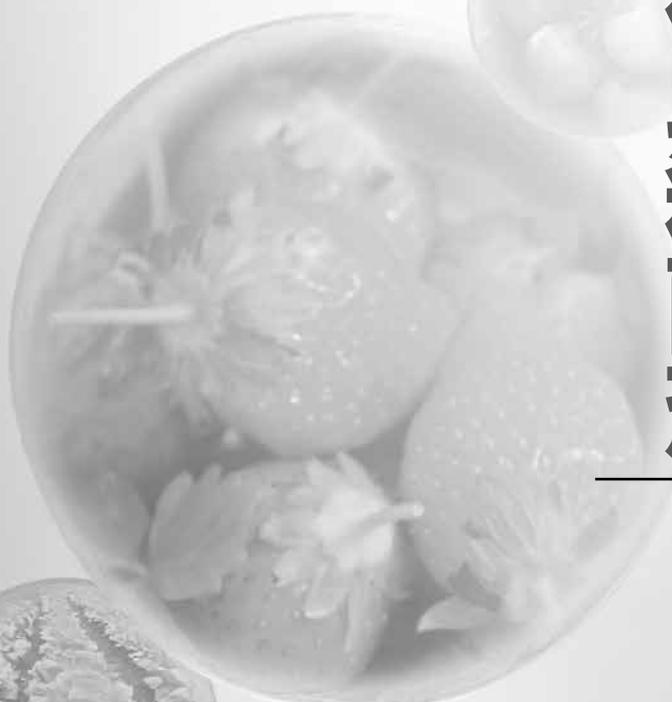
殺虫剤

殺虫殺菌剤

緑化資材

肥料

殺虫殺菌剤



殺虫殺菌剤

農林水産省番号 第 23045 号

イデクリーン[®]水和剤

(硫黄・銅水和剤)



基本データ

有効成分：硫黄 25.0% 塩基性塩化銅 61.0% (銅として35.0%)

性状：淡緑色水和性粉末

その他成分：鉱物質微粉等

有効年限：4年

包装：500g×20袋

特長

- 本剤は無機銅と硫黄を主剤とした製剤で、無機銅は広範囲の病害に対し予防散布することで高い保護作用があります。また、無機硫黄はうどんこ病などに強い殺菌効果と、トマト・ミニトマトのトマトサビダニや、かんきつのミカンサビダニとチャノホコリダニに殺虫効果を示します。

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	硫黄を含む農薬の総使用回数	銅を含む農薬の総使用回数
かんきつ	ミカンサビダニ チャノホコリダニ	500倍	200~700ℓ /10a	—	—	散布	—	—
	そうか病 かいよう病 黒点病	400~800倍						
なし	黒斑病							
ぶどう	黒とう病 つる割細菌病 さび病	500倍						
	べと病 うどんこ病	800倍						
	褐斑病 晩腐病	400~800倍						
豆類(種実) 豆類(未成熟)	さび病							
ばれいしょ	疫病 夏疫病							
うり類	べと病 炭疽病 うどんこ病	400~800倍	100~300ℓ /10a					
かぼちゃ	果実斑点細菌病	500倍						
べほかぼちゃ (種子)	べと病 炭疽病 うどんこ病	400~800倍						
きゅうり	斑点細菌病 褐斑病	500倍						
トマト ミニトマト	疫病	400~800倍						
	うどんこ病	800倍						
	葉かび病 すすかび病 トマトサビダニ	500倍						
いちご	うどんこ病	800倍						
てんさい	褐斑病							

使用上の注意事項

- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布して下さい。
- マシン油乳剤との混用およびマシン油乳剤散布後14日以内の近接散布は避けて下さい。
- 広範囲の殺虫剤、殺菌剤と混用できますが、石灰硫黄合剤等強アルカリ薬剤との混用は避けて下さい。

- 高温時のうり類に対する使用は、葉害の恐れがあるので避けて下さい。
- 夏場高温時の散布は、葉害症状が激しくなることがあるので避けて下さい。
- 散布直後の降雨などがある場合、湿度上昇により葉害が発生しやすいので注意して下さい。
- そらまめ、未成熟そらまめには、葉害を生じる恐れがあるので使用を避けて下さい。
- かんきつに使用する場合、葉害（スタメラノーズ）の発生する恐れがあるので炭酸カルシウム水和剤を加用して下さい。特に果実の着生時期および雑柑への散布は厳守して下さい。
- なしに使用する場合、若葉の頃の散布は葉害を生ずる恐れがあるので有袋栽培の大袋掛以降、新梢の伸びが停止してから散布して下さい。また、二十世紀以外の品種では果実着生時の散布は葉害の恐れがあるので避けて下さい。
- いちごおよびぶどうに使用する場合、葉に葉害を生じる恐れがあるので過度の連用を避けて下さい。また、果実に汚れが生じる恐れがあるので、着果期以降の散布には注意して下さい。
- 新梢、葉に対する葉害軽減のため、銅に弱い品種や葉害の出やすい時期に使用の場合は、必ず炭酸カルシウム水和剤を加用して下さい。
- 幼苗期の散布または過度の連用は葉害を生じる恐れがあるので避けて下さい。
- 本剤は果実に汚れが生じる恐れがあるので注意して下さい。
- 本剤は蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用して下さい。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。

安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。

水産動植物に関する注意事項

- 河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい（藻類）。
- 使用残りの薬液が生じないように調製し使い切ってください。散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さないで下さい。
- また、空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷蔵、乾燥した所に保管して下さい。

微生物農藥

微生物工程改良材

天敵農藥

IPMサポート資材

殺虫剤

殺虫殺菌剤

緑化資材

肥料

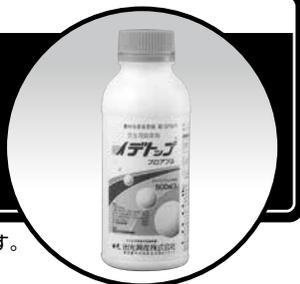
緑化資材



農林水産省登録 第 19758 号

イデトップTMフロアブル

(トリアジフラム水和剤)



※本ページの画像は株式会社エス・ディー・エス バイオテックの著作物です。
無断での使用を禁止します。

基本データ

有効成分：(RS)-N-[2-(3,5-ジメチルフェノキシ)-1-メチルエチル]-6-(1-フルオロ-1-メチルエチル)-1,3,5-トリアジン-2,4-ジアミン 30.0%

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

その他成分：水、界面活性剤等

包装：500ml×4本/ケース

特長

- イネ科雑草、広葉雑草など一年生雑草に対して優れた除草効果を発揮します。
- ヤハズソウに対しては極めて高い効果を発揮します。
- 春処理、秋処理ともに残効性が長いです。
- 温度反応が小さく、芝生への安全性が高いです。
- 日本芝に対する選択性は高く、安全です。

適用雑草名と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		使用回数	使用方法	トリアジフラムを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
日本芝	—	一年生雑草	芝生育期 (雑草発生前 ～発生初期)	0.075～ 0.15ml/m ²	200～300 ml/m ²	2回以内	全面土壌 散布	2回以内
樹木等	公園、庭園、 堤とう、駐車 場、道路、運 動場、宅地、 のり面、鉄道 等		雑草発生前	0.1～0.2 ml/m ²	100～200 ml/m ²		植栽地を除く 樹木等の 周辺地に全 面土壌散布	

使用上の注意事項

- 使用直前に容器をよく振って下さい。
- 発芽後の生育が進んだ雑草に対しては効果が劣るので、雑草の発生前（秋期スズメノカタビラは3葉期まで）に時期を失ないように散布して下さい。
- 洋芝に使用すると葉害を生じる恐れがあるので、使用しないで下さい。
- 芝張後一年以内の芝、ターフ形成の不十分な芝、又は老朽化した芝で根付きのよくないところでは葉害の生じる恐れがあるので使用しないで下さい。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節して下さい。
- 土壌が極度に乾燥している場所には、事前に散水するか、又は散布水量を多めにして下さい。
- 周辺の植物にかかると葉害を生じるので、散布の際は芝生の中や付近にある草花、花木、畑作物に薬液がかからないように散布して下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗して下さい。使用量に合わせ薬液を調整し、使い切して下さい。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切して下さい。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管して下さい。

機能性有機肥料

イデコンポ™ 21S



基本データ

種類：指定配合肥料

含有微生物：バチルス スズチリス

保証成分量：窒素全量 4.0% りん酸全量 3.0% カリウム全量 1.0%

主な成分含量：

窒素	りん酸	カリウム	ケイ酸	腐植酸	石灰	苦土	有機率
4%	3%	1%	3%	8%	11%	1%	73%

規格：ペレット、20kg

特長

- サッチ分解能を持つバチルス菌と良質な有機質肥料を混合しています。
- 透水性・通気性を向上し、芝の地下部の生育環境を改善します。
- 病原菌の住み処であるサッチを減らすことで、病気にかかりにくい環境をつくれます。
- 分解したサッチが肥料効果を発揮し、肥効が長持ちします。
- 刈りカスの減容により、集草作業等のメンテナンス作業の軽減につながります。
- 色の立ち上がりを良くしたい場合の使用に適しています。

使用方法

使用場所：ゴルフ場（フェアウェイ、ティ、アプローチ）、競技場・公園芝地

標準使用量：40～50g/m²

使用時期：3～11月（通常の施肥時期）

機能性有機肥料

イデコンポ™ NX



基本データ

種類：指定配合肥料

含有微生物：バチルス スズチリス、バチルス ピュミリス

保証成分量：窒素全量 6.0% りん酸全量 2.0% カリウム全量 5.0%

主な成分含量：

窒素	りん酸	カリウム	ケイ酸	腐植酸	石灰	苦土	有機率
6%	2%	5%	1.6%	22%	1%	1.3%	72%

規格：ペレット、20kg

特長

- サッチ分解能を持つバチルス菌2種類と良質な有機質肥料を混合しています。
- 透水性・通気性を向上し、芝の地下部の生育環境を改善します。
- 病原菌の住み処であるサッチを減らすことで、病気にかかりにくい環境をつくれます。
- 分解したサッチが肥料効果を発揮し、肥効が長持ちします。
- 刈りカスの減容により、集草作業等のメンテナンス作業の軽減につながります。
- 色の立ち上がりを良くしたい場合や、秋季の使用に適しています。

使用方法

使用場所：ゴルフ場（フェアウェイ）、競技場・公園芝地

標準使用量：30g/m²

使用時期：3～11月（通常の施肥時期）

機能性有機肥料

イデコンポ™EV



基本データ

種類：指定配合肥料

含有微生物：バチルス スズチリス、バチルス ピュミリス

保証成分量：窒素全量10.0%、りん酸全量2.0%、カリウム全量4.0%

主な成分含量：

窒素	りん酸	カリウム	ケイ酸	腐植酸	石灰	苦土	有機率
10%	2%	4%	3.2%	22%	1.3%	0.7%	66%

規格：ペレット、20kg

特長

- サッチ分解能を持つバチルス菌2種類と良質な有機質肥料を混合しています。
- 透水性、通気性を向上し、芝の地下部の生育環境を改善します。
- 病原菌の住み処であるサッチを減らすことで、病気にかかりにくい環境を作ります。
- 分解したサッチが肥料効果を発揮し、肥効が長持ちします。
- 刈りカスの減容により、集草作業等のメンテナンス作業の軽減につながります。
- 色の立ち上がりを良くしたい場合や、秋季の使用に適しています。

使用方法

使用場所：ゴルフ場（フェアウェイ）、競技場・公園芝地

標準使用量：30g/m²

使用時期：3～11月（通常の施肥時期）

機能性有機肥料

ベースアップ®



基本データ

種類：指定配合肥料

含有微生物：バチルス ズブチリス

保証成分量：窒素全量2.5%、りん酸全量2.5%、カリウム全量1.0%

主な成分含量：

窒素	りん酸	カリウム	ケイ酸	苦土	有機率
2.5%	2.5%	1%	6%	3%	79%

規格：ペレット、20kg

特長

- サッチ分解能を持つバチルス菌と良質な有機質肥料を混合しています。
- 透水性・通気性を向上し、芝の地下部の生育環境を改善します。
- 病原菌の住み処であるサッチを減らすことで、病気にかかりにくい環境をつくれます。
- 分解したサッチが肥料効果を発揮し、肥効が長持ちします。
- 刈りカスの減容により、集草作業等のメンテナンス作業の軽減につながります。
- 色の立ち上がりを良くしたい場合や、秋季の使用に適しています。

使用方法

使用場所：ゴルフ場（ティ、ラフ）、競技場・公園芝地

標準使用量：30～40g/m²

使用時期：3～11月（通常の施肥時期）

サッチ分解促進資材

イデコンポ™G



基本データ

種 類：微生物資材
含有微生物：バチルス スズチリス
その他成分：無機担体（硬質ゼオライト）
規 格：細粒、10kg

特 長

- バチルス菌の働きでサッチ（ルートマット）層を構成する有機物残渣を速やかに分解します。
- 透水性・通気性を向上し、芝の生育環境を改善します。
- 細粒のため、通常の肥料散布機で容易に散布できます。

使用方法

使用場所：ゴルフ場のベントグリーン、コウライグリーン

標準使用量：40～60g/m²

使用時期：3～11月

*更新作業時の使用がより適しています。

使用上の注意事項

- キャプタン系、TPN系の殺菌剤とは混用しないで下さい。同殺菌剤を散布する場合は、前後3日空けて使用して下さい。
- 日中の地温が10℃以上の条件で使用して下さい。
- 高温多湿・直射日光を避けて保管して下さい。

サッチ分解促進資材

イデコンポTMGS-R



基本データ

種類：微生物資材

含有微生物：バチルス スズチリス、バチルス ピュミリス

その他成分：界面活性剤、増量剤等

規格：250g×12袋

特長

- 特に好気性・分解能力に優れた2種類のバチルス菌の働きで、サッチ層（ルートマット層）を構成する有機物残渣を、安定的に分解します。
- 透水性・通気性を向上し、芝の育成環境を改善します。
- 水とタイプのため、多くの農薬や液肥等の資材と混用できます。

使用方法

使用場所：ゴルフ場（グリーン、ラフ）

標準使用量：0.2g/m²

散布水量：200～300mℓ/m²

使用時期：3～11月

* 散布後はスプリンクラーで2～3分程度散布して下さい。

使用上の注意事項

- 希釈の際は、タンクに水を張った後、所定量のイデコンポGS-Rを加え、十分に攪拌し、均一に分散するように散布液を調製して下さい。
- キャプタン系、TPN系の殺菌剤とは混用しないで下さい。同殺菌剤を散布する場合は、前後3日空けて使用して下さい。
- 日中の地温が10℃以上の条件で使用して下さい。
- 吸湿性がありますので、開封後は使い切るようにして下さい。
- 保管する場合は、密封し、直射日光を避け、低湿の場所に保管して下さい。

ニトルアー™ 〈アメシロ〉

(フォールウェブルア剤)



基本データ

有効成分：(3Z,6Z,9S,10R)-シス-9,10-エポキシ-3,6-ヘニコサジエン 0.58mg/枚
 (3Z,6Z,9S,10R)-シス-9,10-エポキシ-1,3,6-ヘニコサトリエン 0.49mg/枚
 (9Z,12Z,15Z)-9,12,15-オクタデカトリエン-1-アール 4.3mg/枚

性状：片面黒色、片面白色の張り合わせシート

その他成分：ポリエステルフィルム、ポリエステル樹脂等

有効期間：常温で約3か月

容器及び内容：内装 製剤1枚ごとをポリエチレンビニルアルコール製フィルムに密封
 外装 内装2枚を、クラフト化工紙に入れる

特長

- 性フェロモンの強力な誘引力を利用し、専用トラップ（捕獲器）でオス成虫を大量に捕獲します。
- 次世代のアメリカシロヒトリ幼虫（毛虫）の発生を抑制します。
- 捕獲数から被害状況や防除適期を予測（発生予測）できます。
- 自然への影響が少なく環境を保全、作業者にも安全です。
- 人体・有用昆虫・魚介類・植物等にはほとんど影響がありません。
- 人通りの多い歩道の街路樹や公園・住宅地での使用に最適です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法
樹木類	誘引	アメリカシロヒトリ	直線使用（街路樹など） 40m当り1個以上	成虫発生初期 から発生後期	本剤をトラップ1台 当り1個貼付け、地 上1～6mの高さに設 置する
			面使用（公園など） 10a当り3個以上		

専用トラップ（別売り）



モストラップ

使用上の注意事項

- 本剤はアメリカシロヒトリの雄成虫を誘引して、本剤と併用するトラップにより成虫を捕獲し、次世代のアメリカシロヒトリ幼虫の被害を低減させることを目的としています。
- 本剤はフェロモンを利用したもので、アメリカシロヒトリ雄成虫の誘引を目的としており、直接致死させることを目的としたものではありません。このため本剤使用中に幼虫が大量発生した場合には、薬剤散布・剪定などの有効な防除手段を併用して講じて下さい。
- アメリカシロヒトリの発生期間はおよそ4月から9月の約6か月間であるので、発生時期に応じて製剤を使用して下さい。最大の効果を得るためにはアメリカシロヒトリの第1回成虫（越冬世代）の発生前から施用を開始し、発生終了までの全世代に対して誘引捕獲を行って下さい。但し本剤の有効期間は常温で約3か月であり、高温・乾燥・多雨・日光照射などの気象条件により誘引効果を示す期間が短縮される場合があるので、適宜新しい製剤と交換して下さい。
- 本剤は使用する直前に開封し、併用するトラップに貼付し、周辺の樹木などに、地上より1～6mの高さに吊り下げて下さい。本剤を貼付したトラップの使用量は街路樹などの様な直線的に施用する場合は、40m当り1個以上、公園などの様な面的に施用する場合は10a当り3個以上として下さい。
- 本剤は使用する直前まで乾燥した冷暗所（約5℃）に保存して下さい。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法などに注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所など関係機関の指導を受けて下さい。



微生物農藥

微生物工程改良材

天敵農藥

IPMサポート資材

殺虫剤

殺虫殺菌剤

緑化資材

肥料

肥料



農林水産省登録 輸第 13156 号

IK666

グリーンマップ® はセントラル硝子株式会社の登録商標です。

基本データ

種類：化成肥料

保証成分量：アンモニア性窒素（6.0%）、く溶性りん酸（36.0%）、内水溶性りん酸（6.0%）、
く溶性加里（6.0%）、内水溶性加里（4.0%）、く溶性苦土（16.0%）

規格：9kg（MS：1.4-3.0mm、SS：0.5-1.3mm）

特長

- 土壌水分や温度の影響を受けにくい緩効性の肥料成分を主体に、初期生育に必要な速効性成分も備えた肥料です。
- 植物の根から分泌される有機酸により肥料成分が緩やかに溶け出すので、肥料焼けや根痛みの心配が少なく、植物を健全に育てます。
- 花壇苗、野菜苗、鉢花、ハーブ、花木、花壇、プランターを始め、法面・造園緑化や培土にも好適な肥料です。

使用方法

使用用途：花壇苗、緑化

使用時期：春、秋

標準使用量：

■花・野菜（ポット用土1リットル当たり）

シクラメン・ペコニア	パンジー・ビオラ	カーネーション	葉ボタン	野菜類
2~3g	3~4g	3~4g	3~5g	2~3g

■樹木（1本当たり）

高木（樹高3m以上）	中・低木（樹高3m以下）
100~400g	50~150g

■法面（1m²当たり）

草本・木本植物混播
80~150g

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は3～6ヶ月ですが、植物の種類・用土・灌水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。
- 機械による施肥を行う場合は、出光アグリ株式会社へご相談下さい。

貯蔵上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性がありますが、肥効には影響ありません。

スーパーファイン111

基本データ

種 類：化成肥料

保証成分量：窒素全量（10.0%）、内アンモニア性窒素（2.0%）、
く溶性りん酸（10.0%）、
内水溶性りん酸（6.0%）、く溶性加里（10.0%）、
内水溶性加里（9.0%）、
く溶性苦土（2.0%）

規 格：9kg（SS：0.5-1.3mm）

特 長

- 微細粒肥料ですので、土に均一に混ざります。
- 窒素原料は、ウレアホルムですので、穏やかな肥効が持続します。

使用方法

使用用途：野菜用培養土

使用時期：通年

標準使用量：20～30g/m²

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は1～2ヶ月ですが、植物の種類・用土・灌水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。
- 機械による施肥を行う場合は、出光アグリ株式会社へご相談下さい。

貯蔵上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性があります。肥効には影響ありません。

農林水産省登録 輸第 13157 号

エコマップ スーパーファイン525

基本データ

種類：化成肥料

保証成分量：アンモニア性窒素（5.0%）、く溶性りん酸（25.0%）、内水溶性りん酸（5.0%）、
く溶性加里（5.0%）内水溶性加里（4.0%）、く溶性苦土（12.0%）

規格：エコマップ…9kg（MS：1.4-3.0mm）
スーパーファイン525…9kg（SS：0.5-1.3mm）

特長

- 微細粒ですので、土に均一に混ざります。
- 植物の出す根酸によって溶け、植物の成長に合わせ吸収されます。
- 温度による溶出速度も少なく、高温時に急激に溶出する事はありません。

使用方法

使用用途：園芸用培養土

使用時期：通年

標準使用量：20～30g/m²

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は1～2ヶ月ですが、植物の種類・用土・灌水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。
- 機械による施肥を行う場合は、出光アグリ株式会社へご相談下さい。

貯蔵上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性があります。肥効には影響ありません。

ライトT1111

基本データ

種 類：化成肥料

保証成分量：窒素全量 (10.0%)、可溶性りん酸 (10.0%)、内水溶性りん酸 (6.5%)、水溶性加里 (10.0%)、水溶性苦土 (1.0%)、水溶性マンガン (0.10%)、水溶性ほう素 (0.05%)

規 格：9kg (L：2.0g、M：1.0g、S：0.5g)

特 長

- ウレアホルム含有肥料です。
- 肥料成分が水平で、バランスがよく、植物を選ばず全般に使用できます。

使用方法

使用用途：苗物、鉢物全般

使用時期：通年

標準使用量：

鉢の規格 \ 肥料の形状	L品	M品	S品
2.5号	—	—	1錠
3号	—	1錠	1～2錠
4号	1錠	1～2錠	—
5号	1～2錠	1～2錠	—

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は 1～2 ヶ月ですが、植物の種類・用土・灌水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 肥料は植物より出来るだけ離し、用土に軽く押し込む様に施肥して下さい。
- 特に高温時には、濃度障害を起こす可能性がありますので、施肥量や施肥時期には充分注意願います。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。

貯蔵上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性があります。肥効には影響ありません。

ライトT622

基本データ

種類：化成肥料

保証成分量：窒素全量 (6.0%)、内アンモニア性窒素 (1.5%)、< 溶性りん酸 (12.0%)、
内水溶性りん酸 (1.0%) < 溶性加里 (12.0%)、内水溶性加里 (11.0%)、
< 溶性苦土 (5.0%)、< 溶性マンガン (0.15%)

規格：9kg (L：2.0g、M：1.0g、S：0.5g)

特長

- ウレアホルム含有肥料です。窒素を抑えた穏やかな肥効です。
- シクラメンの夏越し・花芽分化時期の追肥に使用します。
- 苺のポット苗にも使用できます。

使用方法

使用用途：シクラメン、苺、鉢物

使用時期：初夏～秋

標準使用量：

鉢の規格 \ 肥料の形状	L品	M品	S品
2.5号	—	—	1錠
3号	—	1錠	1～2錠
4号	1錠	1～2錠	—
5号	1～2錠	1～2錠	—

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は2～3ヶ月ですが、植物の種類・用土・灌水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
 - 肥料は植物より出来るだけ離し、用土に軽く押し込む様に施肥して下さい。
 - 特に高温時には、濃度障害を起こす可能性がありますので、施肥量や施肥時期には充分注意願います。
 - 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。
-

貯蔵上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性があります。肥効には影響ありません。

ライトGM

基本データ

種類：化成肥料

保証成分量：アンモニア性窒素（5.0%）、＜溶性りん酸（30.0%）、内水溶性りん酸（5.0%）、
＜溶性加里（5.0%）内水溶性加里（3.0%）、＜溶性苦土（15.0%）、
内水溶性苦土（1.0%）

規格：9kg（LL：10g、L：2.0g、M：1.0g、S：0.5g）

特長

- グリーンマップGの錠剤型肥料で、錠剤では最も緩効性タイプです。
- シクラメン等夏に使用する肥料です。

使用方法

使用用途：緑化（苗木の植栽）、花木、シクラメン、苗物、山上げ時追肥、栽培期間の長い植物

使用時期：春～夏

標準使用量：

鉢の規格	肥料の形状	L品	M品	S品
2.5号		—	—	1錠
3号		—	1錠	1～2錠
4号		1錠	1～2錠	—
5号		1～2錠	1～2錠	—

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は3～5ヶ月ですが、植物の種類・用土・灌水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
 - 肥料は植物より出来るだけ離し、用土に軽く押し込む様に施肥して下さい。
 - 特に高温時には、濃度障害を起こす可能性がありますので、施肥量や施肥時期には充分注意願います。
 - 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。
-

貯蔵上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性があります。肥効には影響ありません。

フラワーライトT050

基本データ

種 類：化成肥料

保証成分量：窒素全量（10.0%）、内アンモニア性窒素（6.0%）、
 く溶性りん酸（15.0%）、
 内水溶性りん酸（1.0%）く溶性加里（10.0%）、内水溶性加里（9.0%）、
 く溶性苦土（6.0%）

規 格：9kg（L：2.0g、M：1.0g）

特 長

- ウレアホルム含有肥料です。硫安が含まれており、高温時の使用は不可です。
- 肥料食いの植物に適しています。

使用方法

使用用途：肥料食いの植物、苗物

使用時期：晩秋～春

標準使用量：

鉢の規格 \ 肥料の形状	L品	M品
2.5号	—	—
3号	—	1錠
4号	1錠	1～2錠
5号	1～2錠	1～2錠

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は1～2ヶ月ですが、植物の種類・用土・灌水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
 - 肥料は植物より出来るだけ離し、用土に軽く押し込む様に施肥して下さい。
 - 特に高温時には、濃度障害を起こす可能性がありますので、施肥量や施肥時期には充分注意願います。
 - 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。
-

貯蔵上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性があります。肥効には影響ありません。

IKT222

基本データ

種類：化成肥料

保証成分量：窒素全量（12.0%）、く溶性りん酸（12.0%）、内水溶性りん酸（4.0%）、水溶性加里（12.0%）、く溶性苦土（1.0%）、く溶性マンガン（0.10%）、く溶性ほう素（0.05%）

規格：9kg（中：1.5g）

特長

- ウレアホルム含有肥料です。
- ライトT111よりも、初期溶出が多いタイプです。
- カーネーションなど肥料食いの植物に適しています。

使用方法

使用用途：苗物、カーネーション

使用時期：春、秋

標準使用量：

鉢の規格	肥料の形状	中粒品
2.5号		—
3号		—
4号		1錠
5号		2錠

施用上の注意事項

- 肥効期間の目安は中粒では1～1.5ヶ月、小粒では3週～1ヶ月ですが、植物の種類・用土・灌水方法・栽培期間等により肥効は変動します。
- 肥料は植物より出来るだけ離し、用土に軽く押し込む様に施肥して下さい。
- 特に高温時には、濃度障害を起こす可能性がありますので、施肥量や施肥時期には充分注意願います。
- 強いアルカリ資材や除草剤とは混用しないで下さい。

貯蔵上の注意

- 直射日光、高温を避け、乾燥した場所に保管して下さい。
- 開封後保管する場合は、密封して下さい。
- 乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 吸湿することで、固結や簡単に崩壊する可能性があります。肥効には影響ありません。

參考資料



イデクリン水和剤 混用例

<殺虫剤>

2019年11月1日現在

薬剤名	きゅうり	トマト	ミニトマト	いちご	かぼちゃ	すいか	そらめ	小豆	ぶどう	かんきつ
アーデント水和剤				○					○	
アーデントフロアブル									○	
アクタラ顆粒水和剤										○
アグロスリン乳剤					○					
アタプロン乳剤				○						
アディオ水和剤									○	
アディオ乳剤		○	○		○		○			
アドマイヤー顆粒水和剤	○	○			○			○	○	○
アドマイヤー水和剤		○				○			○	○
アドマイヤーフロアブル							○		○	
アニキ乳剤		○								
アフーム乳剤	○	○	○	○	○			○		
アブロードエースフロアブル	○	○								○
アブロードフロアブル		○							○	○
アルバリン顆粒水溶剤									○	
ウララDF		○		○		○				
エスマルクDF		○	○							
エルサン乳剤					○					○
オリオン水和剤40										○
オルトラン水和剤		○						○		
オレート液剤		○								
カウンター乳剤				○						
カスケード乳剤	○									
カネマイトフロアブル				○	○	○		○		○
キラップフロアブル										○
コテツフロアブル	○	○		○	×			○	○	○
コルト顆粒水和剤		○		○					○	○
コロマイト水和剤				○					○	○
コロマイト乳剤		○				○		○		
サブリーナフロアブル		○		○						
サムコルフロアブル10									○	
サンクリスタル乳剤		○	○	○	○				○	
サンマイト水和剤									○	○
サンマイトフロアブル	○	○	○	○	○	○		○	○	
ジェイエース水溶剤		○							○	
スタークル顆粒水溶剤	○	○								○
スターマイトフロアブル				○					○	○
スピノエース顆粒水和剤	○	○		○						
スピノエースフロアブル										○
スプラサイド水和剤									○	
スプラサイド乳剤40										○
スミチオン水和剤40									○	
スミチオン乳剤		○		○	○		○	○		○
スミロディー乳剤	○	○			○					
ゼンターリ顆粒水和剤				○						
ダイアジノン乳剤40					○					
ダースバン乳剤										○
ダニエモンフロアブル										○
ダニカット乳剤20										○

<殺虫剤>

薬剤名	きゅうり	トマト	ミニトマト	いちご	かぼちゃ	すいか	そらめめ	小豆	ぶどう	かんきつ
ダニコングフロアブル										○
ダニトロンフロアブル								○		
ダニサラバフロアブル	○			○		○			○	○
ダブルフェイスフロアブル										○
ダントツ水溶剤	○	○	○						○	○
チェス顆粒水和剤		○	○	○						
ディアナSC									○	
テデオン乳剤				○						
テルスター水和剤								○		
トリガード液剤		○	○							
トルネードフロアブル				○						
トレボン乳剤	○	○						○		
ニッソラン水和剤								○		
ノーモルト乳剤		○								
バイスロイド乳剤									○	
バダンSG水溶剤									○	
ハチハチ乳剤						○				
ハチハチフロアブル		○								○
ハッパ乳剤	○				○					
バリアード顆粒水和剤				○		○			○	
パロックフロアブル				○		○		○		○
ピラニカEW				○		○		○		
フェニックス顆粒水和剤	○	○		○					○	
ブレオフロアブル	○	○		○						
ブレバソソフロアブル5		○		○						
ベストガード水溶剤		○	○							
マイトコーネフロアブル				○						
マッチ乳剤		○	○							
マトリックフロアブル		○	○	○					○	
マブリック水和剤20		○				○				
マブリックEW									○	
マラソソ乳剤		○		○	○	○	○			
モスピラン顆粒水溶剤								○	○	
モスピラン水溶剤		○	○	○		○			○	
ランネット45DF					○					
ロディー乳剤				○	○			○		
ロムダンフロアブル				○						
EPN乳剤					○					

<殺菌剤>

薬剤名	きゅうり	トマト	ミニトマト	いちご	かぼちゃ	すいか	そらめめ	小豆	ぶどう	かんきつ
アフエツトフロアブル		○		○					○	
アミスター20フロアブル		○				○				
エトフィンフロアブル									○	
エムダイファー水和剤										○
オーシャンフロアブル									○	
オーソサイド水和剤		○		○		○				
オンリーワンフロアブル									○	

<殺菌剤>

薬剤名	きゅうり	トマト	ミニトマト	いちご	かぼちゃ	すいか	そらまめ	小豆	ぶどう	かんきつ
カンタスドライフロアブル				○						
サンヨール乳剤				○						
ジーファイン水和剤		×		○						
ジマンダイセン水和剤	×	×							○	○
シグナムWDG						○				
ジャストフィットフロアブル									○	
ジャストミート顆粒水和剤				○						
スイッチ顆粒水和剤										○
ストロビーフロアブル	○								○	
ストロビードライフロアブル									○	○
セイビアフロアブル20		○		○						
ダイマジン水和剤		○								
ダコニール1000	○	○	○			○				
タフパール		○	○							
テーク水和剤						○				
デランフロアブル										○
トップジンM水和剤					×					
トリフミン水和剤				○						
ナリアWDG										○
ネクスターフロアブル									○	
ファンタジスタ顆粒水和剤								○	○	
フルーツセイバー									○	○
フルピカフロアブル		○	○	○					○	○
フロンサイドSC									○	○
ベトファイター顆粒水和剤									○	
ベブドー水和剤					○					
ベルコート水和剤		○	○		○					
ベルコートフロアブル						○				
ベンコゼブ水和剤	×	×							○	○
ベンレート水和剤					×					
ボトキラー水和剤		○	○			○				
ホライズンドライフロアブル		○							○	
ポリオキシンAL水和剤				○						
ポリベリン水和剤						○			○	
モレスタン水和剤				○		○				
ライメイフロアブル		○							○	
ラリー水和剤				○						
ランマンフロアブル		○	○						○	
リドミルMZ水和剤		○								
リドミルゴールドMZ						○				
レーバスフロアブル									○	
ロブラール水和剤		○	○	○				○	○	○
ロブラール500アクア		○		○						

※表中の丸印は薬害が出ないことを保証するものではありません。

タフパール 近接散布事例

<殺虫剤>

混用事例あり			
アーデント水和剤	カネマイトフロアブル	チェス顆粒水和剤	プレオフロアブル
アグリメック	カルホス乳剤	ディプテレックス乳剤	ベストガード水溶剤
アカリタッチ乳剤	コテツフロアブル	テデオン乳剤	ボタニガードES
アクタラ顆粒水溶剤	コロマイト水和剤	テルスター水和剤	マイトコーネフロアブル
アグロスリン乳剤	コロマイト乳剤	トクチオン乳剤	マシ油乳剤
アタブロン乳剤	サイハロン乳剤	トリガード液剤	マッチ乳剤
アディオン乳剤	サンクリスタル乳剤	トレボン乳剤	マトリックフロアブル
アドマイヤー水和剤	サンマイトフロアブル	ニッソラン水和剤	マブリック水和剤20
アドマイヤーフロアブル	除虫菊乳剤	粘着くん液剤	マラソン乳剤
アフーム乳剤	スタークル顆粒水溶剤	ノーモルト乳剤	モスピラン顆粒水溶剤
アブロードエースフロアブル	スターマイトフロアブル	ハクザップ水和剤	ランネット45DF
アブロード水和剤	スピノエース顆粒水和剤	ハチハチ乳剤	ロディー乳剤
ウララDF	スミチオン乳剤	バリアード顆粒水和剤	ロムダンフロアブル
オルトラン水和剤	ダイアジノン乳剤40	バロックフロアブル	BT剤全般
オレート液剤	ダニサラバフロアブル	ピラニカEW	
カウンター乳剤	ダニトロンフロアブル	ファルコンフロアブル	
カスケード乳剤	ダニメツフロアブル	フェニックス顆粒水和剤	

1日以上の間隔を空ける
マイトクリーン

<殺菌剤>

混用事例あり	3日以上の間隔を空ける	7日以上の間隔を空ける
アフエツフロアブル	アミスター20フロアブル	アントラコール顆粒水和剤
イオウフロアブル	オキシンドー80水和剤	オーソサイド水和剤80
イデクレーン水和剤	カリグリーン	ゲッター水和剤
オレート液剤	キノンドーフロアブル	ジマンダイセン水和剤
カンタスドライフロアブル	サブロール乳剤	ショウチノスケフロアブル
サンクリスタル乳剤	サンヨール	デランフロアブル
ジャストフィットフロアブル	サンリット水和剤	トップジンM水和剤
ネクスターフロアブル	ジーファイン水和剤	トレノックスフロアブル
ファンタジスタ顆粒水和剤	ジャストミート顆粒水和剤	ベンレート水和剤
プロパティフロアブル	スコア顆粒水和剤	ポリキャブタン水和剤
ボトキラー水和剤	ストロビーフロアブル	ICボルドー66D
ホライズンドライフロアブル	スミブレンド水和剤	
ポリオキシシAL水溶剤	スミレックス水和剤	
ポリオキシシAL水和剤	セイビアーフロアブル20	10日以上の間隔を空ける
ポリオキシシAL乳剤	ドキリンフロアブル	オキシラン水和剤
ライメイフロアブル	トリフミン水和剤	カーゼートP Z水和剤
ランマンフロアブル	ハーモメイト水溶剤	キャブレート水和剤
レーバフロアブル	バリダシヨ液剤5	ダイマジン水和剤
レンテミン液剤	パンチョTF顆粒水和剤	ドーシャスフロアブル
Zボルドー	フルビカフロアブル	ビスダイセン水和剤
	モレストン水和剤	ファンベル顆粒水和剤
	ラリー水和剤	フェスティバル水和剤
	ルビゲン水和剤	ブリザード水和剤
	ロブラール500アクア	ベルコート水和剤
	ロブラール水和剤	ペンコゼブフロアブル
		28日以上の間隔を空ける
		フロンサイドSC
		ニマイバー水和剤

<展着剤>

混用事例あり	
アイヤーエース	スカッシュ
アピオンE	ネオエステルン
アプローチB I	ブレイクスルー
クミテン	ブラボー
グラミンS	マイリノー
サブマージ	ミックスパワー
サントクテン40、80	

1日以上の間隔を空ける
アグラー
ダイコート
ニーズ

ボトキラー水和剤 混用事例

<殺菌剤>

薬剤名	混用
アフエットフロアブル	○
アミスター20フロアブル	○
イオウフロアブル	○
カリグリーン	○
カンタスDF	○
ゲッター水和剤	○
サブロール乳剤	○
サンヨール	○
サンリット水和剤	○
ジーファイン水和剤	○
ジャストミート顆粒水和剤	○
ストロビーフロアブル	○
スミブレンド水和剤	○
スミレックス水和剤	○
セイビアフロアブル20	○
ダイアメリットDF	○
ダイヤモンド	○
ドキリンフロアブル	○
トップジンM水和剤	○
トリフミン水和剤	○
ネクスターフロアブル	○
ハーモメイト水和剤	○
バリダシン液剤5	○
パンチョTF顆粒水和剤	○
フルピカフロアブル	○
ベルコート水和剤	○
ベルコートフロアブル	○
ベンレート水和剤	○
ホライズンDF	○
ポリオキシンAL水溶剤	○
ポリオキシンAL水和剤	○
ポリオキシンAL乳剤	○
モレスタン水和剤	○
ライメイフロアブル	○
ラリー水和剤	○
ランマンフロアブル	○
ルビゲン水和剤	○
ロブラール500アクア	○
ロブラール水和剤	○

<殺虫剤>

薬剤名	混用
EPN乳剤	○
アーデント水和剤	○
アクテリック乳剤	○
アグロスリン乳剤	○
アタブロン乳剤	○
アディオン乳剤	○
アドマイヤー顆粒水和剤	○
アドマイヤー水和剤	○
アフーム乳剤	○
アブロードエースフロアブル	○
アブロード水和剤	○
ウララDF	○
エスマルクDF	○
オレート液剤	○
カスケード乳剤	○
カネマイトフロアブル	○
コテツフロアブル	○
コロマイト水和剤	○
コロマイト乳剤	○
サイアノックス乳剤	○
サイハロン乳剤	○
サンクリスタル乳剤	○
サンマイトフロアブル	○
除虫菊乳剤	○
スターマイトフロアブル	○
スピノエース顆粒水和剤	○
スミチオン乳剤	○
ダイアジノン水和剤	○
ダントロンフロアブル	○
ダントツ水溶剤	○
チェス水和剤	○
ディブテレックス乳剤	○
テデオ水和剤	○
テルスター水和剤	○
トリガード液剤	○
トレボン乳剤	○
ニッソラン水和剤	○

<殺虫剤>

薬剤名	混用
粘着くん液剤	○
ノーモルト液剤	○
ハクサップ水和剤	○
ハチハチ乳剤	○
バッサ乳剤	○
バリアード顆粒水和剤	○
バロックフロアブル	○
ピラニカEW	○
プレオフロアブル	○
ベストガード水溶剤	○
フェニックス顆粒水和剤	○
マイトコーネフロアブル	○
マッチ乳剤	○
マブリック水和剤20	○
マラソン乳剤	○
モスピラン水溶剤	○
ラノー乳剤	○
ランネット45DF	○
ロディー乳剤	○

<展着剤>

薬剤名	混用
アブローチB1	○
クミテン	○
グラミンS	○
サブマージ	○
サントクテン80	○
スカッシュ	○
ダイコート	○
展着剤アグラー	○
ニーズ	○
ネオエステリン	○
ハイテンパワー	○
ブラボー	○
ブレイクスルー	○
まくびか	○
ミックスパワー	○

インプレッションクリア 混用事例集

作物名	イチゴ	トマト	ミニトマト	ナス	ピーマン	キュウリ	メロン	スイカ	ニラ	サヤインゲン
殺虫・殺ダニ剤										
アークト水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アタラシ水溶液		○	○	○	○	○	○	○	○	○
アブロン乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アタロン乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アディオ乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アドマイヤー顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アドマイヤー水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アドマイヤーフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アニキ乳剤				○						
アファム乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アブロードエースフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アブロード水和剤										
ウララDF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エスマルクDF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オレト液剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カンター乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カスケード乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カネマイトフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コデックフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コルト顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コロマイト水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コロマイト乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ザリナフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サンクスタル乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サンマイトフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スカウトフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スターバル (アルリン) 顆粒水溶液	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スターマイトフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スピエース顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スピネオン乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゼンターリ顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイアラン乳剤40	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダニサバフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダニトロンフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダガルフェースフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダウト水溶液	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デュス顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デュンアップ顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デュオナSC	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デルフィン顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トリガード液剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トルネードフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トルネードエースDF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トレボン乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ニッラン水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
結露くん液剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ノーモルト乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
パシレックス水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バダナSG水溶液										○
ハチハチ乳剤										○
ハチハチフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハリアード顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハロックスフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ピラニカEW	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フニックス顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プレオフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プレバソフロアブル5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ベストガード水溶液	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイコネフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マツ乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マトリックフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マラン乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モスピラン顆粒水溶液	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モスピラン水溶液	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モメントフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

作物名	イチゴ	トマト	ミニトマト	ナス	ピーマン	キュウリ	メロン	スイカ	ニラ	サヤインゲン
殺菌剤										
アフェットフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アミスター20フロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アントラコール顆粒水和剤										
イオウフロアブル				○						
オゾンサイド水和剤80	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カスミンボルドー										
カッパー水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カーゼートFZ水和剤										
カリグリーン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カクタスドライフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クッター水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コサイド3000										○
サンヨール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ジーファイン水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ジマンダイセン水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ジャストミート顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ストロビーフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スミックス水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スミフレンド水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セイデアフロアブル20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダコニール1000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダコニールエース	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
タフバール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドイッボルドーA										
トップジンM水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドリフミン水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バイオキープーバー水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハルモイト水溶液	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
パンチOFF顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブリザード水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フルビカフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フロバテクトフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロボース顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ベルコート水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ベルコートフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ベネレート水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホライズンドライフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ポリオキシンAL水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ポリオキシンAL乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ポリバソ水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モレスタ水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ランマンフロアブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リドミルMZ水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ルビゲン水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ロブテール500アクア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ロブテール水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Zボルドー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

展着剤

アピオンE、アプローB1、ウィックタッチ、クミテン、グラミンS
スカッシュ、タイコト、ネオエスチン、プレイクスルー、マイリノー
まぐひか、ミックスバワー

※本表は混用を推奨・保証するものではありません。
※本表は過去の試験事例を元に作成しておりますが、品種・栽培条件・使用時間などにより結果が異なる場合がありますので、参考事例としてお取扱いください。
※本表は2021年4月現在の情報を元に作成しております。
作成：株式会社「アピオンE」パイオネット

これまで巻末に掲載しておりました「天敵生物に対する農薬の影響表」については、最新の情報を提供するため、印刷物での提供を中止させていただきました。

確認される場合は、製造元である株式会社アグリセクトのHPをご確認ください。

URL : <https://www.agrisect.com/sideeffect2.html>

QRコード :



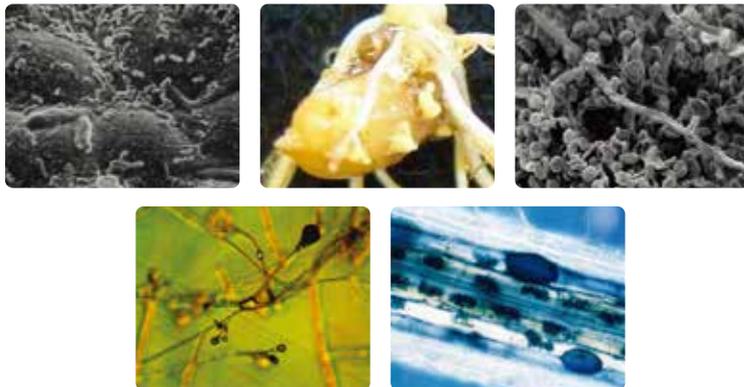


農薬工業会

農薬適正使用運動

1. 使用前にラベルや説明書をよく読んでください。
2. マスク・手袋など防護具を着用してください。
3. 圃場の外に飛散・流出しないよう使用してください。
4. 空容器は正しく処分してください。
5. 食品と区別し、カギをかけて保管してください。

出光の生物農薬で「IPM」を支援



ーミクロのチカラでバイオイノベーションー

生物農薬にできること

- 総合的病害虫管理（IPM・ICM）の主要技術として活用
- 環境保全型農業の推進を支援
- 化学農薬との体系防除で耐性菌・抵抗性害虫の発達を抑制
- 難防除病害虫に優れた効果を示す生物農薬もあります
- ポジティブリスト制度（改正食品衛生法）の必須アイテム
- 使用回数の制限がなく、食べる人・農作業する人にも安心
- 省力および大規模企業農場の労務効率化に
- 化学農薬を使用しないで作物を栽培したいときに
- 病害虫防除に生物農薬を組み込めば「防除が楽しく」なります

ほっと安心、もっと活力、きっと満足。出光の約束

出光興産株式会社 アグリバイオ事業部

〒100-8321 東京都千代田区大手町一丁目2番1号

TEL.03-6895-1335 FAX. 03-3284-0837

<https://www.idemitsu.com/jp/business/agri/index.html>